

# 船橋市津波避難計画（案）

「別冊 船橋市津波避難マップ（地区別）」

【パブリック・コメント】

船 橋 市

【市長公室 危機管理課】

## 船橋市津波避難マップ（地区別）の使い方

津波避難マップ（地区別）は、津波避難計画で指定した避難対象地域の地区ごとに、津波の浸水に関する情報、地震発生からの経過時間に応じた取るべき避難行動、避難の目安となる避難目標や代表的な避難路などを示したマップです。

日頃から津波避難マップを見て、津波が来た際に自分にとるべき避難行動や避難する場所、自宅や勤務先の周りの浸水深などを確認し、いざという時、自分自身の命を守る適切な避難ができるよう準備しましょう。

### ステップ1：大地図で『避難目標』を確認する。

自宅や勤務先の町丁目を大地図で探し、その町丁目の『避難目標』を確認して下さい。

津波が来た際には、まず避難対象地域の外へ出ることを目指して、避難目標の方向に避難します。

避難目標は6種類あり、地域によって異なることに注意してください。船橋市は川をのぼってきた津波によって浸水します。間違った避難目標を目指して避難すると、川をのぼってきた津波に流される危険があります。

番号	目安となる避難目標	対象地域
1	京成本線	海神川より西の地域
2	天沼弁天池公園または船橋中学校	海神川と海老川に挟まれた地域
3	市立船橋高等学校または吹上交差点	海老川より東、JR 総武線より北の地域
4	宮本中学校	海老川より東、JR 総武線より南の地域 (高瀬町を除く)
5	新習志野駅	高瀬町
6	津波一時避難施設	潮見町

### ステップ2：中地図で避難対象地域の外まで続く『避難路』、『避難目標』を確認する。

目指すべき避難目標がわかったら、中地図を見て、避難対象地域の外まで続く避難路や、避難目標を確認して下さい。

また、津波一時避難施設の位置も確認して下さい。津波が来る時間になっても避難対象地域の外までたどり着けそうにない時は、津波一時避難施設に避難します。

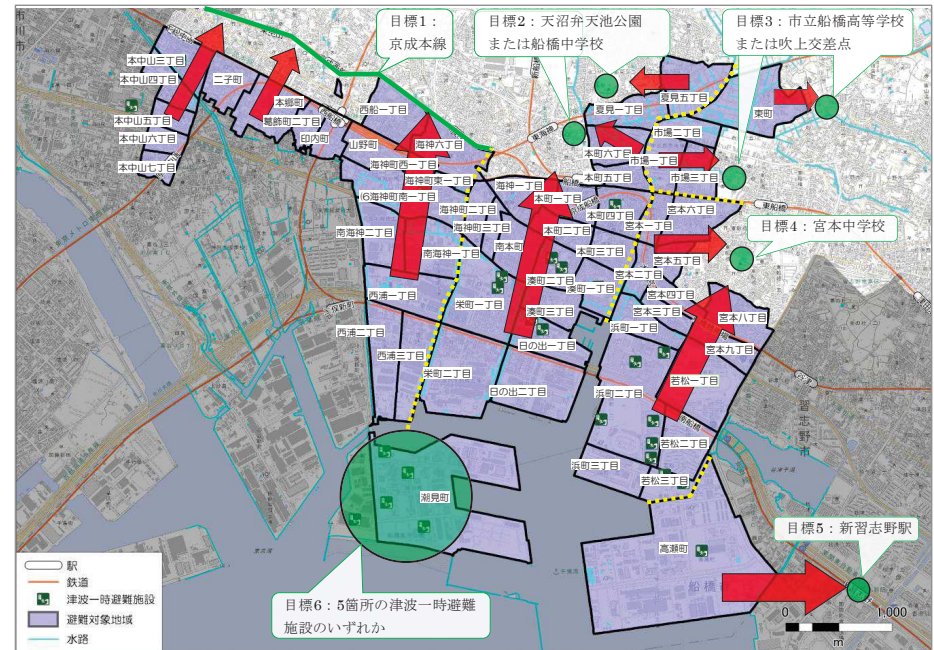
### ステップ3：地区別の地図で、どのようにして避難対象地域の外まで避難するかイメージする。

地区別の地図で、津波が来た際にとるべき避難行動、自宅や勤務先の周りの避難路、注意して通行する必要がある場所等を確認し、どのようにして避難対象地域の外まで逃げるかイメージして下さい。

地区によっては、避難対象地域の外までの距離が長く、津波一時避難施設を目指して避難することを推奨している場合があります。その場合、避難対象地域の外への避難を意識しながら、その方向にある一時避難先に避難します。

また、地図に掲載されている避難路は市が検討した代表的な避難路です。そのほかの道を使用することについても、家族や職場の人たちと話し合い、より安全な避難ができるよう準備しましょう。

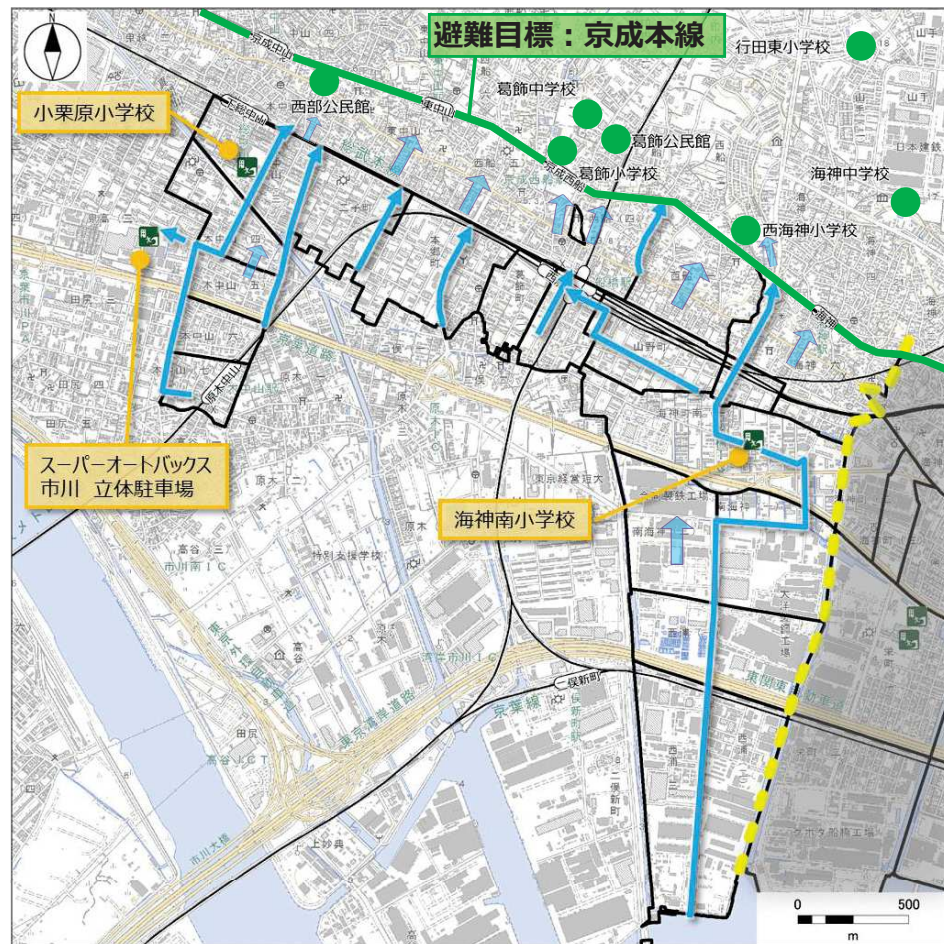
### ステップ1：大地図で『避難目標』を確認する。



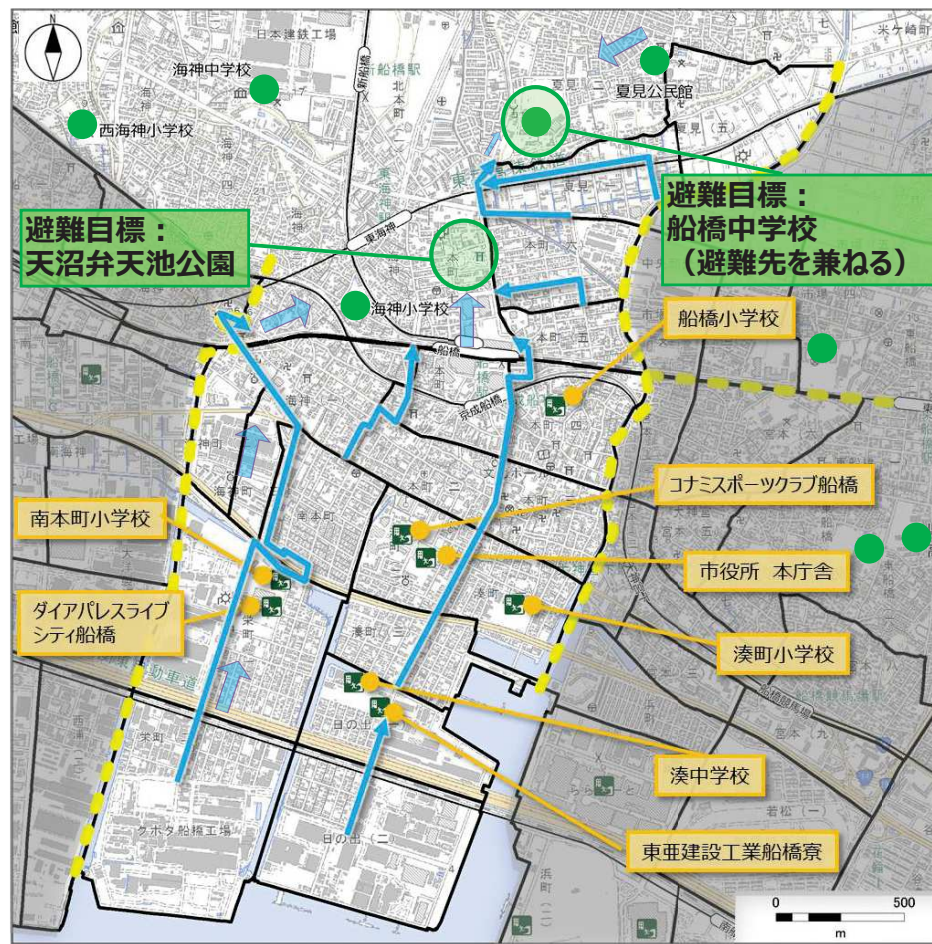
この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図 25000 を複製したものである。(承認番号 令元情復、第 551 号)

ステップ2：中地図で避難対象地域の外まで続く『避難路』、『避難目標』を確認する。

地域1



地域2

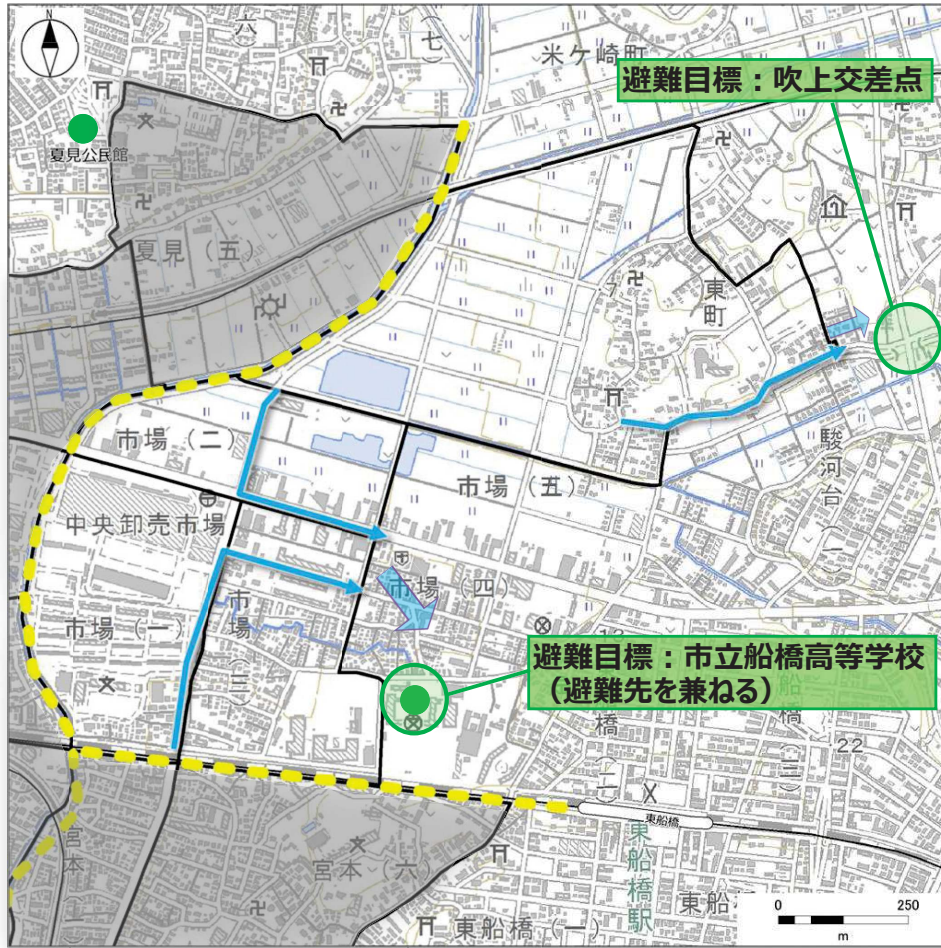


この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図 25000 を複製したものである。(承認番号 令元情複、第 551 号)

凡例

- 水色の矢印は、代表的な避難に使う避難路を示します。
- 大きな矢印は、避難のおおよその方向を示します。
- 緑色の線や大きな丸は、避難目標を示します。
- 緑色の丸は、避難先を示します。
- 田の字のマークは、津波一時避難施設を示します。
- 6つの地域区分の境界線を示します。

地域3



地域4

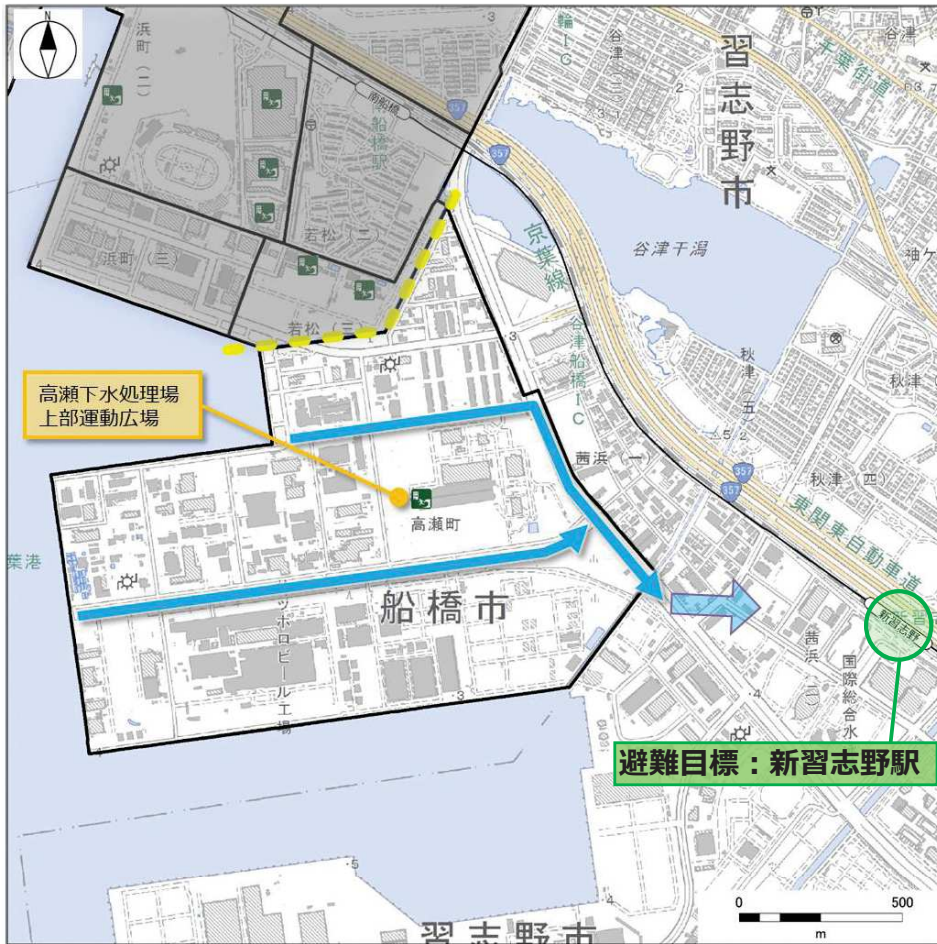


この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図 25000 を複製したものである。(承認番号 令元情復、第 551 号)

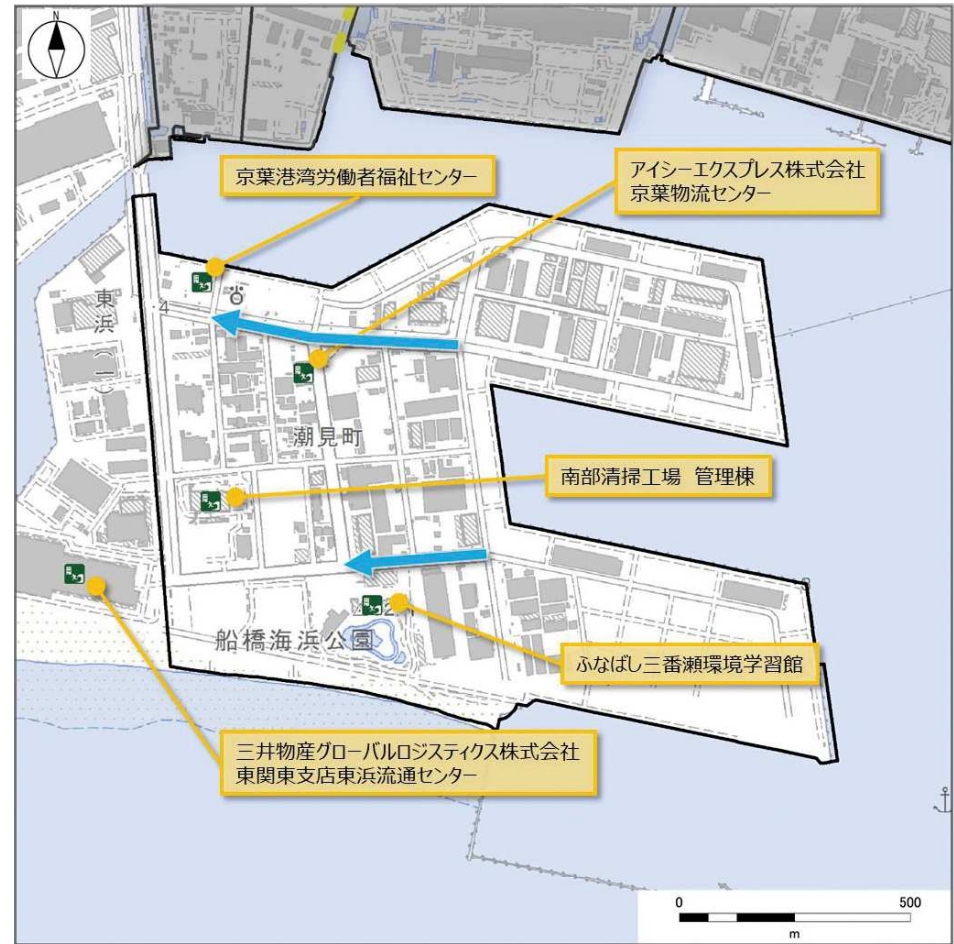
凡例

- 水色の矢印は、代表的な避難に使う避難路を示します。
- 大きな矢印は、避難のおおよその方向を示します。
- 緑色の線や大きな丸は、避難目標を示します。
- 緑色の丸は、避難先を示します。
- 津波一時避難施設を示します。
- 6つの地域区分の境界線を示します。

地域5



地域6



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図 25000 を複製したものである。(承認番号 令元情複、第 551 号)

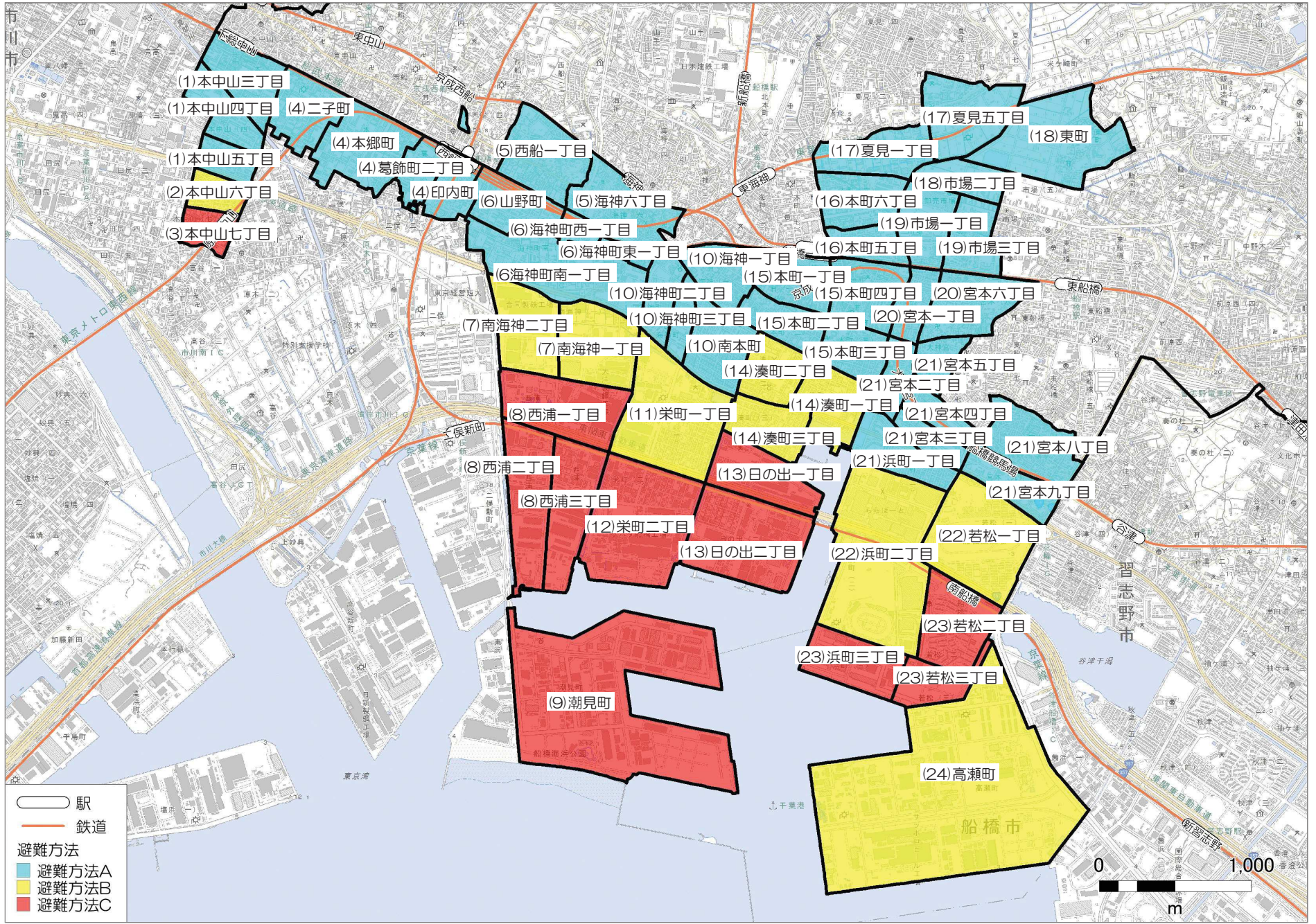
凡例

- 水色の矢印は、代表的な避難に使う避難路を示します。
- 大きな水色の矢印は、避難のおおよその方向を示します。
- 緑色の線や大きな丸は、避難目標を示します。
- 緑色の丸は、避難先を示します。
- 津波一時避難施設を示します。
- 6つの地域区分の境界線を示します。

ステップ3：地区別の地図で、どのようにして避難対象地域の外まで避難するかイメージする。

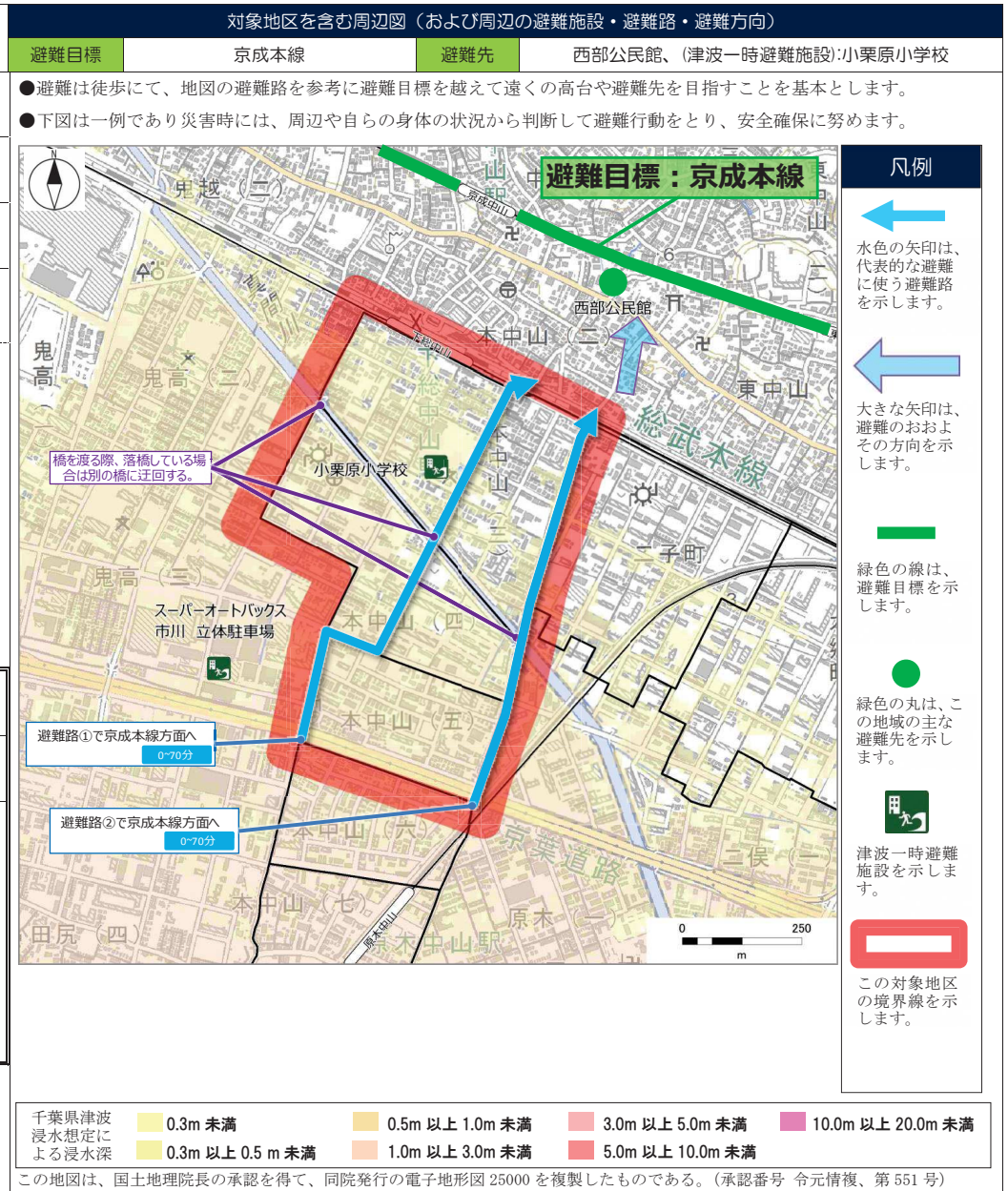
## 地区一覧

(1)本中山三丁目、本中山四丁目、本中山五丁目.....	1
(2)本中山六丁目.....	2
(3)本中山七丁目.....	3
(4)二子町、本郷町、葛飾町二丁目、印内町.....	4
(5)西船一丁目、海神六丁目.....	5
(6)山野町、海神町西一丁目、海神町東一丁目、海神町南一丁目.....	6
(7)南海神一丁目、南海神二丁目.....	7
(8)西浦一丁目、西浦二丁目、西浦三丁目.....	8
(9)潮見町.....	9
(10)海神一丁目、海神町二丁目、海神町三丁目、南本町.....	10
(11)栄町一丁目.....	11
(12)栄町二丁目.....	12
(13)日の出一丁目、日の出二丁目.....	13
(14)湊町一丁目、湊町二丁目、湊町三丁目.....	14
(15)本町一丁目、本町二丁目、本町三丁目、本町四丁目.....	15
(16)本町五丁目、本町六丁目.....	16
(17)夏見一丁目、夏見五丁目.....	17
(18)東町、市場二丁目.....	18
(19)市場一丁目、市場三丁目.....	19
(20)宮本一丁目、宮本六丁目.....	20
(21)宮本二丁目、宮本三丁目、宮本四丁目、宮本五丁目、宮本八丁目、宮本九丁目、浜町一丁目.....	21
(22)浜町二丁目、若松一丁目.....	22
(23)浜町三丁目、若松二丁目、若松三丁目.....	23
(24)高瀬町.....	24



(1)本中山三丁目、本中山四丁目、本中山五丁目

人口	昼間人口 7,024 人 夜間人口 9,193 人
想定される危険性	<p>最大浸水深 (地点は右図参照) 3.0~5.0m ※千葉県津波浸水想定の場合</p> <p>津波到達時間 70分 ※千葉県津波浸水想定の場合</p> <p>液状化発生の危険性 真間川沿いで「極めて高い」、そのほか、ほぼ全域で「高い」または「やや高い」 ※平成 29・30 年度船橋市防災アセスメント調査(千葉県北西部直下地震)による予測の場合</p>
避難方法の考え方	<p>避難方法 A: 避難対象地域の外に到達しやすい地域であり、避難対象地域の外を目指すことを基本とする。</p> <p>地震発生 40分 70分 (第一波到達)</p> <p>避難対象地域の外に避難 頑丈な建物等へ緊急避難</p> <p>避難目標、避難先を目指す。 地震発生から 70 分後、避難の余裕がないときは近くの頑丈な建物等に緊急避難を行う。</p> <p>※この時間軸は千葉県津波浸水想定の場合による一例であり、実際には、テレビ・ラジオ等あらゆる手段を用いて情報を収集し、避難行動の判断をする必要がある。 ※避難路は、真間川沿いを一部通過することになるため、津波到達時間等に十分注意し、避難を行う。</p>
避難目標	京成本線
避難先	西部公民館 (津波一時避難施設) : 小栗原小学校
推奨される具体的な避難行動(避難路や避難先)	<p>避難路①から真間川を越えて京成本線方面へ。 避難路②から真間川を越えて京成本線方面へ。</p> <p>※河川や水路に近い道で避難する時は、周囲の安全をよく確認すること。 ※避難目標まで遠く、移動に伴う危険があると考えられる場合は、無理に移動は行わず、頑丈な建物の上階へ避難する。</p>
(参考) 周辺の津波一時避難施設	スーパーオートバックス市川 立体駐車場
	※津波避難時は、海側方向への移動は危険が伴うため、基本的に行わない。





(2) 本中山六丁目

人口	昼間人口 1,530 人 夜間人口 1,787 人
想定される危険性	<p>最大浸水深 (地点は右図参照) 3.0~5.0m ※千葉県津波浸水想定の場合</p> <p>津波到達時間 70分 ※千葉県津波浸水想定の場合</p> <p>液状化発生の危険性 中央部と南東部の一部で「極めて高い」、そのほかの地域で「高い」または「やや高い」 ※平成29・30年度船橋市防災アセスメント調査(千葉県北西部直下地震)による予測の場合</p>
基本となる避難方法	<p>避難方法の考え方 避難方法B: 避難対象地域の外を目指すことを基本に、津波到達予想時刻までの時間などの状況により、津波一時避難施設や頑丈な建物の上階に垂直避難する。</p> <p>地震発生 40分 70分(第一波到達)</p> <p>避難対象地域の外に避難 津波一時避難施設へ避難 頑丈な建物等へ緊急避難</p> <p>避難目標、避難先を目指す。 地震発生から40分後、避難行動が遅れた人は津波一時避難施設への避難を行う。 地震発生から70分後、避難の余裕がないときは近くの頑丈な建物等に緊急避難を行う。</p> <p>※この時間軸は千葉県津波浸水想定の場合による一例であり、実際には、テレビ・ラジオ等あらゆる手段を用いて情報を収集し、避難行動の判断をする必要がある。 ※避難路は、真間川沿いを一部通過することになるため、津波到達時間等に十分注意し、避難を行う。</p>
	<p>避難目標 京成本線</p> <p>避難先 西部公民館 (津波一時避難施設) : 小栗原小学校、スーパーオートバックス市川 立体駐車場</p>
	<p>推奨される具体的な避難行動(避難路や避難先)</p> <p>【0~40分】 避難路①から真間川を越えて京成本線方面へ。 避難路②から真間川を越えて京成本線方面へ。</p> <p>【40分~70分】 上記および右図記載の津波一時避難施設(小栗原小学校、スーパーオートバックス市川 立体駐車場)へ。 ※河川や水路に近い道で避難する時は、周囲の安全をよく確認すること。 ※避難目標まで遠く、移動に伴う危険があると考えられる場合は、無理に移動は行わず、頑丈な建物の上階へ避難する。</p>
(参考) 周辺の津波一時避難施設	—

対象地区を含む周辺図(および周辺の避難施設・避難路・避難方向)

避難目標	京成本線	避難先	西部公民館、(津波一時避難施設)小栗原小学校、スーパーオートバックス市川 立体駐車場
------	------	-----	--

●避難は徒歩にて、地図の避難路を参考に避難目標を越えて遠くの高台や避難先を目指すことを基本とします。  
●下図は一例であり災害時には、周辺や自らの身体の状態から判断して避難行動をとり、安全確保に努めます。

凡例

- 水色の矢印は、代表的な避難路に使う避難路を示します。
- 大きな矢印は、避難のおおよその方向を示します。
- 緑色の線は、避難目標を示します。
- 緑色の丸は、この地域の主な避難先を示します。
- 津波一時避難施設を示します。
- この対象地区の境界線を示します。

千葉県津波浸水想定による浸水深

0.3m 未満	0.5m 以上 1.0m 未満	3.0m 以上 5.0m 未満	10.0m 以上 20.0m 未満
0.3m 以上 0.5m 未満	1.0m 以上 3.0m 未満	5.0m 以上 10.0m 未満	

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図 25000 を複製したものである。(承認番号 令元情復、第551号)

(3) 本中山七丁目

人口	昼間人口 1,495 人 夜間人口 1,029 人
想定される危険性	<p>最大浸水深 (地点は右図参照) 1.0~3.0m ※千葉県津波浸水想定の場合</p> <p>津波到達時間 70分 ※千葉県津波浸水想定の場合</p> <p>液状化発生の危険性 原木中山周辺から地区の中央にかけてと、地区の西縁から南西縁で「高い」 ※平成 29・30 年度船橋市防災アセスメント調査(千葉県北西部直下地震)による予測の場合</p>
基本となる避難方法	<p>避難方法の考え方 避難方法 C: 避難対象地域の外までの距離が遠く、周辺の津波一時避難施設、頑丈な建物の上階に垂直避難する。</p> <p>地震発生 40分 70分 (第一波到達)</p> <p><b>津波一時避難施設へ避難</b> <b>頑丈な建物等へ緊急避難</b></p> <p>避難先を目指す。 地震発生から 70 分後、避難の余裕がないときは近くの頑丈な建物等に緊急避難を行う。</p> <p>※この時間軸は千葉県津波浸水想定の場合による一例であり、実際には、テレビ・ラジオ等あらゆる手段を用いて情報を収集し、避難行動の判断をする必要がある。</p>
	<p>避難目標 各津波一時避難施設、または頑丈な建物の上階</p> <p>避難先 (津波一時避難施設) : 小栗原小学校、スーパーオートバックス市川 立体駐車場</p> <p>推奨される具体的な避難行動(避難路や避難先) 上記および右図記載の津波一時避難施設(小栗原小学校、スーパーオートバックス市川 立体駐車場)へ。</p> <p>※河川や水路に近い道で避難する時は、周囲の安全をよく確認すること。 ※避難目標まで遠く、移動に伴う危険があると考えられる場合は、無理に移動は行わず、頑丈な建物の上階へ避難する。</p>
(参考) 周辺の津波一時避難施設	—

対象地区を含む周辺図(および周辺の避難施設・避難路・避難方向)

避難目標	津波一時避難施設 (または頑丈な建物の上階)	避難先	(津波一時避難施設) : 小栗原小学校、スーパーオートバックス市川 立体駐車場
------	------------------------	-----	---

- 避難は徒歩にて、地図の避難路を参考に避難目標を越えて遠くの高台や避難先を目指すことを基本とします。
- 下図は一例であり災害時には、周辺や自らの身体の状態から判断して避難行動をとり、安全確保に努めます。

**凡例**

- ← 水色の矢印は、代表的な避難路に使う避難路を示します。
- ← 大きな矢印は、避難のおおよその方向を示します。
- 緑色の線は、避難目標を示します。
- 緑色の丸は、この地域の主な避難先を示します。
- 🏫 津波一時避難施設を示します。
- 📦 この対象地区の境界線を示します。

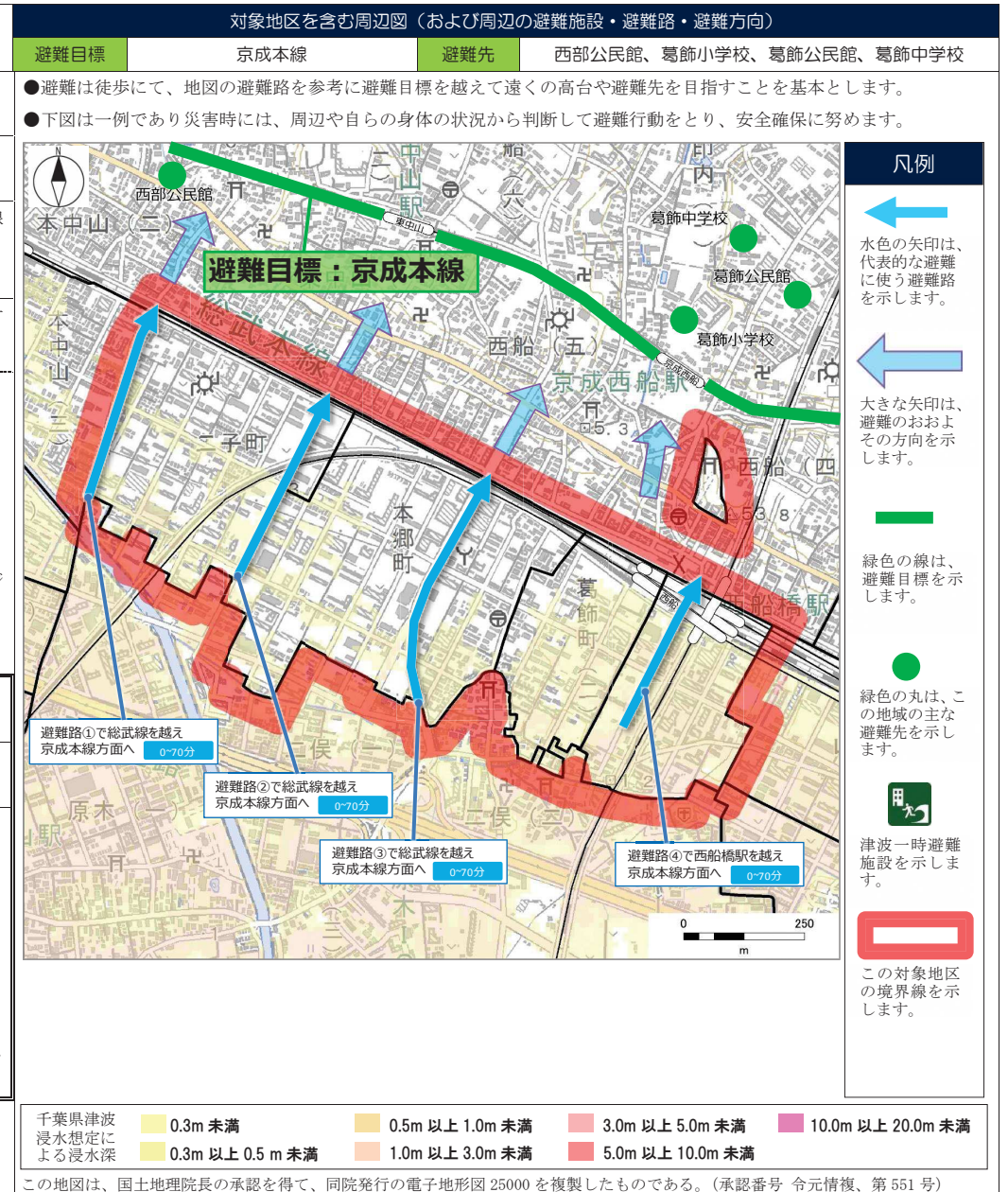
千葉県津波浸水想定による浸水深

0.3m 未満	0.5m 以上 1.0m 未満	3.0m 以上 5.0m 未満	10.0m 以上 20.0m 未満
0.3m 以上 0.5m 未満	1.0m 以上 3.0m 未満	5.0m 以上 10.0m 未満	

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図 25000 を複製したものである。(承認番号 令元情複、第 551 号)

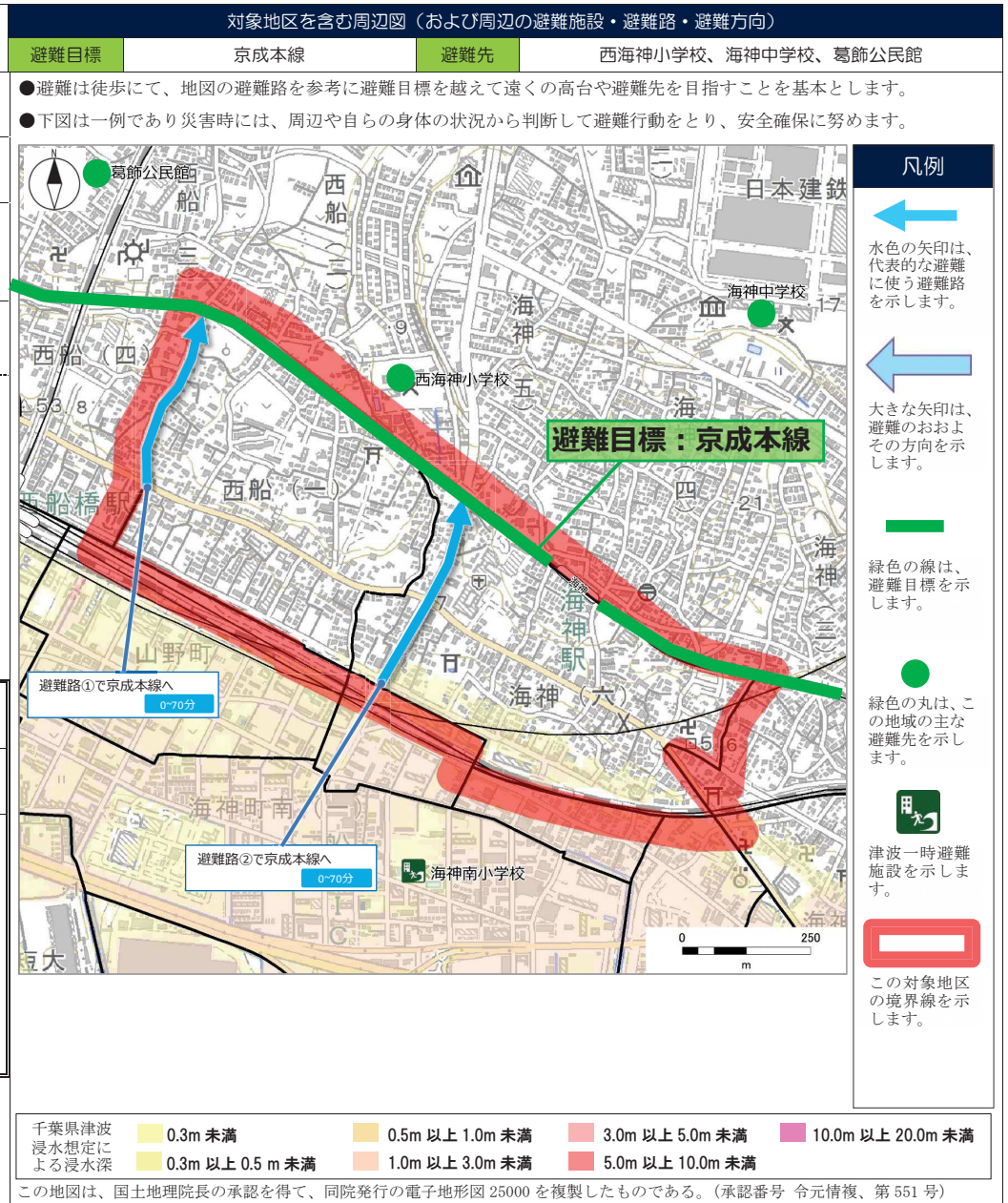
(4) 二子町、本郷町、葛飾町二丁目、印内町

人口	昼間人口	8,866 人	夜間人口	13,862 人
想定される危険性	最大浸水深 (地点は右図参照)	1.0~3.0m ※千葉県津波浸水想定の場合		
	津波到達時間	70 分 ※千葉県津波浸水想定の場合		
	液状化発生の危険性	二子町の西部、本郷町の南部、葛飾町二丁目の北西部と南西部の一部、印内町の京葉線沿いで「極めて高い」 ※平成 29・30 年度船橋市防災アセスメント調査(千葉県北西部直下地震)による予測の場合		
基本となる避難方法	避難方法の考え方	避難方法 A: 避難対象地域の外に到達しやすい地域であり、避難対象地域の外を目指すことを基本とする。  地震発生 40分 70分 (第一波到達) <b>避難対象地域の外に避難</b> <b>頑丈な建物等へ緊急避難</b>  避難目標、避難先を目指す。 地震発生から 70 分後、避難の余裕がないときは近くの頑丈な建物等に緊急避難を行う。  ※この時間軸は千葉県津波浸水想定の場合による一例であり、実際には、テレビ・ラジオ等あらゆる手段を用いて情報を収集し、避難行動の判断をする必要がある。		
	避難目標	京成本線		
	避難先	西部公民館、葛飾小学校、葛飾公民館、葛飾中学校		
	推奨される具体的な避難行動(避難路や避難先)	避難路①から総武線を越え京成本線方面へ。 避難路②から総武線を越え京成本線方面へ。 避難路③から総武線を越え京成本線方面へ。 避難路④から西船橋駅を越え京成本線方面へ。  ※避難目標まで遠く、移動に伴う危険があると考えられる場合は、無理に移動は行わず、頑丈な建物の上階へ避難する。		
(参考) 周辺の津波一時避難施設	—			



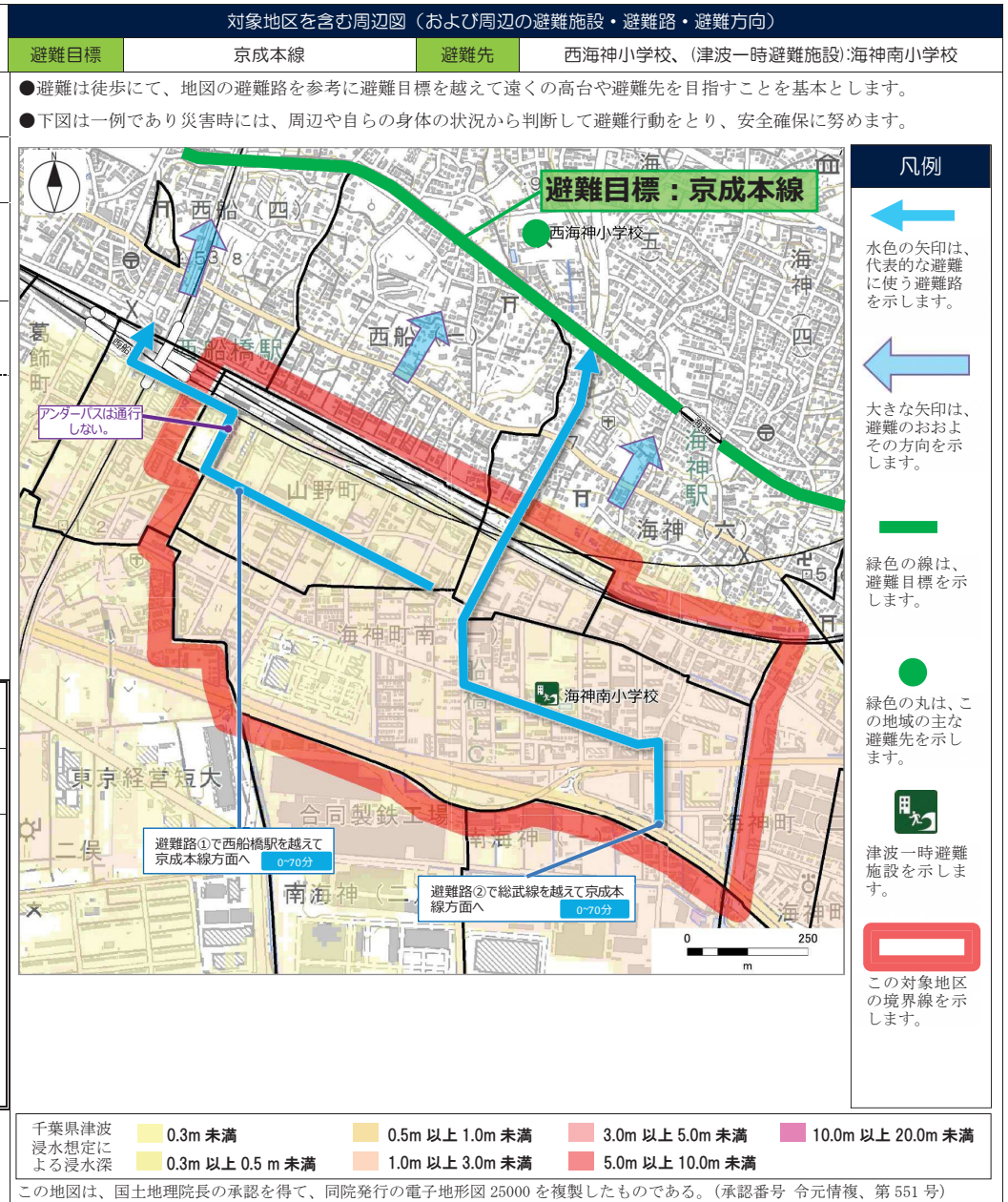
(5) 西船一丁目、海神六丁目

人口	昼間人口 5,557 人	夜間人口 5,582 人
想定される危険性	最大浸水深 (地点は右図参照)	3.0~5.0m ※千葉県津波浸水想定の場合
	津波到達時間	70分 ※千葉県津波浸水想定の場合
	液状化発生の危険性	西船一丁目の南東の一部で「極めて高い」または「高い」、海神六丁目の南東の一部で「極めて高い」 ※平成29・30年度船橋市防災アセスメント調査(千葉県北西部直下地震)による予測の場合
基本となる避難方法	避難方法の考え方	避難方法A: 避難対象地域の外に到達しやすい地域であり、避難対象地域の外を目指すことを基本とする。  地震発生 40分 70分(第一波到達) 避難対象地域の外に避難 頑丈な建物等へ緊急避難  避難目標、避難先を目指す。 地震発生から70分後、避難の余裕がないときは近くの頑丈な建物等に緊急避難を行う。  ※この時間軸は千葉県津波浸水想定の場合による一例であり、実際には、テレビ・ラジオ等あらゆる手段を用いて情報を収集し、避難行動の判断をする必要がある。
	避難目標	京成本線
	避難先	西海神小学校、海神中学校、葛飾公民館
	推奨される具体的な避難行動(避難路や避難先)	避難路①から国道14号線を越えて京成本線へ。 避難路②から国道14号線を越えて京成本線へ。  ※避難目標まで遠く、移動に伴う危険があると考えられる場合は、無理に移動は行わず、頑丈な建物の上階へ避難する。
(参考) 周辺の津波一時避難施設	海神南小学校	※津波避難時は、海側方向への移動は危険が伴うため、基本的に行わない。



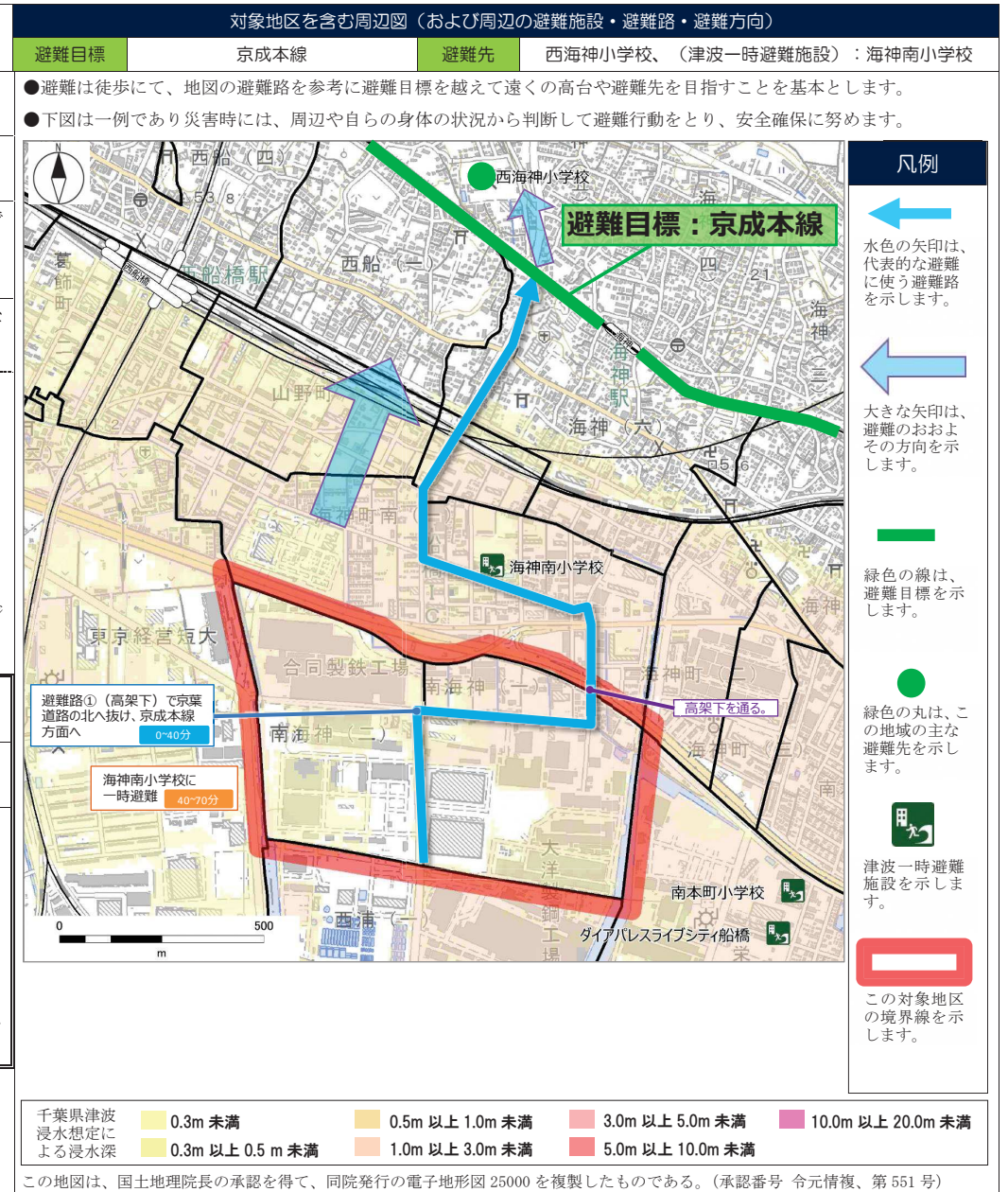
(6) 山野町、海神町西一丁目、海神町東一丁目、海神町南一丁目

人口	昼間人口 3,441 人	夜間人口 10,220 人
想定される危険性	最大浸水深 (地点は右図参照)	5.0~10.0m ※千葉県津波浸水想定の場合
	津波到達時間	70分 ※千葉県津波浸水想定の場合
	液状化発生の危険性	山野町の一部、海神町西一丁目、海神町東一丁目、海神町南一丁目で「極めて高い」、ほぼ全域で「高い」 ※平成29・30年度船橋市防災アセスメント調査(千葉県北西部直下地震)による予測の場合
基本となる避難方法	避難方法の考え方	避難方法A: 避難対象地域の外に到達しやすい地域であり、避難対象地域の外を目指すことを基本とする。  地震発生 40分 70分(第一波到達) 避難対象地域の外に避難 頑丈な建物等へ緊急避難  避難目標、避難先を目指す。 地震発生から70分後、避難の余裕がないときは近くの頑丈な建物等に緊急避難を行う。  ※この時間軸は千葉県津波浸水想定の場合による一例であり、実際には、テレビ・ラジオ等あらゆる手段を用いて情報を収集し、避難行動の判断をする必要がある。
	避難目標	京成本線
	避難先	西海神小学校 (津波一時避難施設): 海神南小学校
	推奨される具体的な避難行動(避難路や避難先)	避難路①から西船橋駅を越えて京成本線方面へ。 避難路②から総武線を越えて京成本線方面へ。  ※避難目標まで遠く、移動に伴う危険があると考えられる場合は、無理に移動は行わず、頑丈な建物の上階へ避難する。
	(参考) 周辺の津波一時避難施設	—



(7) 南海神一丁目、南海神二丁目

人口	昼間人口 1,303 人	夜間人口 311 人
想定される危険性	最大浸水深 (地点は右図参照) ※千葉県津波浸水想定の場合	3.0~5.0m
	津波到達時間 ※千葉県津波浸水想定の場合	70 分
	液状化発生の危険性 南海神一丁目の全域で「極めて高い」または「高い」、南海神二丁目の南東部の一部で「極めて高い」 ※平成 29・30 年度船橋市防災アセスメント調査(千葉県北西部直下地震)による予測の場合	
基本となる避難方法	避難方法の考え方 避難方法 B: 避難対象地域の外を目指すことを基本に、津波到達予想時刻までの時間などの状況により、津波一時避難施設や頑丈な建物の上階に垂直避難する。	
	地震発生 40 分 70 分(第一波到達)	
	避難目標、避難先を目指す。 地震発生から 40 分後、避難行動が遅れた人は津波一時避難施設への避難を行う。 地震発生から 70 分後、避難の余裕がないときは近くの頑丈な建物等に緊急避難を行う。 ※この時間軸は千葉県津波浸水想定の場合による一例であり、実際には、テレビ・ラジオ等あらゆる手段を用いて情報を収集し、避難行動の判断をする必要がある。	
	避難目標 京成本線	
避難先 西海神小学校 (津波一時避難施設)：海神南小学校		
推奨される具体的な避難行動(避難路や避難先)	【0~40 分】 避難路①から高架下を通って京葉道路を越え、京成本線方面へ。 【40~70 分】 上記および右図記載の津波一時避難施設(海神南小学校)へ。  ※避難目標まで遠く、移動に伴う危険があると考えられる場合は、無理に移動は行わず、頑丈な建物の上階へ避難する。	
(参考) 周辺の津波一時避難施設	南本町小学校、ダイアパレスライブシティ船橋  ※津波避難時は、海側方向への移動は危険が伴うため、基本的に行わない。	



(8) 西浦一丁目、西浦二丁目、西浦三丁目

人口		昼間人口 2,171 人	夜間人口 14 人	対象地区を含む周辺図（および周辺の避難施設・避難路・避難方向）	
				避難目標	津波一時避難施設 (または頑丈な建物の上階)
				避難先	(津波一時避難施設) : 海神南小学校
想定される危険性	最大浸水深 (地点は右図参照)	3.0~5.0m ※千葉県津波浸水想定の場合		<ul style="list-style-type: none"> <li>●避難は徒歩にて、地図の避難路を参考に避難目標を越えて遠くの高台や避難先を目指すことを基本とします。</li> <li>●下図は一例であり災害時には、周辺や自らの身体の状況から判断して避難行動をとり、安全確保に努めます。</li> </ul>	
	津波到達時間	70分 ※千葉県津波浸水想定の場合			
基本となる避難方法	液状化発生の危険性	西浦一丁目の西部の広域と東部の一部で「極めて高い」、西浦二丁目と西浦三丁目のほぼ全域で「極めて高い」 ※平成29・30年度船橋市防災アセスメント調査(千葉県北西部直下地震)による予測の場合			
	避難方法の考え方	避難方法C: 避難対象地域の外までの距離が遠く、周辺の津波一時避難施設、頑丈な建物の上階に垂直避難する。 地震発生 40分 70分(第一波到達) <b>津波一時避難施設へ避難</b> <b>頑丈な建物等へ緊急避難</b> 避難先を目指す。 地震発生から70分後、避難の余裕がないときは近くの頑丈な建物等に緊急避難を行う。 ※この時間軸は千葉県津波浸水想定の場合による一例であり、実際には、テレビ・ラジオ等あらゆる手段を用いて情報を収集し、避難行動の判断をする必要がある。			
	避難目標	各津波一時避難施設、または頑丈な建物の上階			
	避難先	(津波一時避難施設) : 海神南小学校			
	推奨される具体的な避難行動(避難路や避難先)	上記および右図記載の津波一時避難施設(海神南小学校)へ。  ※河川や水路に近い道で避難する時は、周囲の安全をよく確認すること。 ※避難目標まで遠く、移動に伴う危険があると考えられる場合は、無理に移動は行わず、頑丈な建物の上階へ避難する。			
(参考) 周辺の津波一時避難施設	南本町小学校、ダイアパレスライブシティ船橋				
		※津波避難時は、海側方向への移動は危険が伴うため、基本的に行わない。		千葉県津波浸水想定による浸水深 0.3m未満 0.3m以上0.5m未満 0.5m以上1.0m未満 1.0m以上3.0m未満 3.0m以上5.0m未満 5.0m以上10.0m未満 10.0m以上20.0m未満	
				この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図25000を複製したものである。(承認番号 令元情複、第551号)	

(9) 潮見町

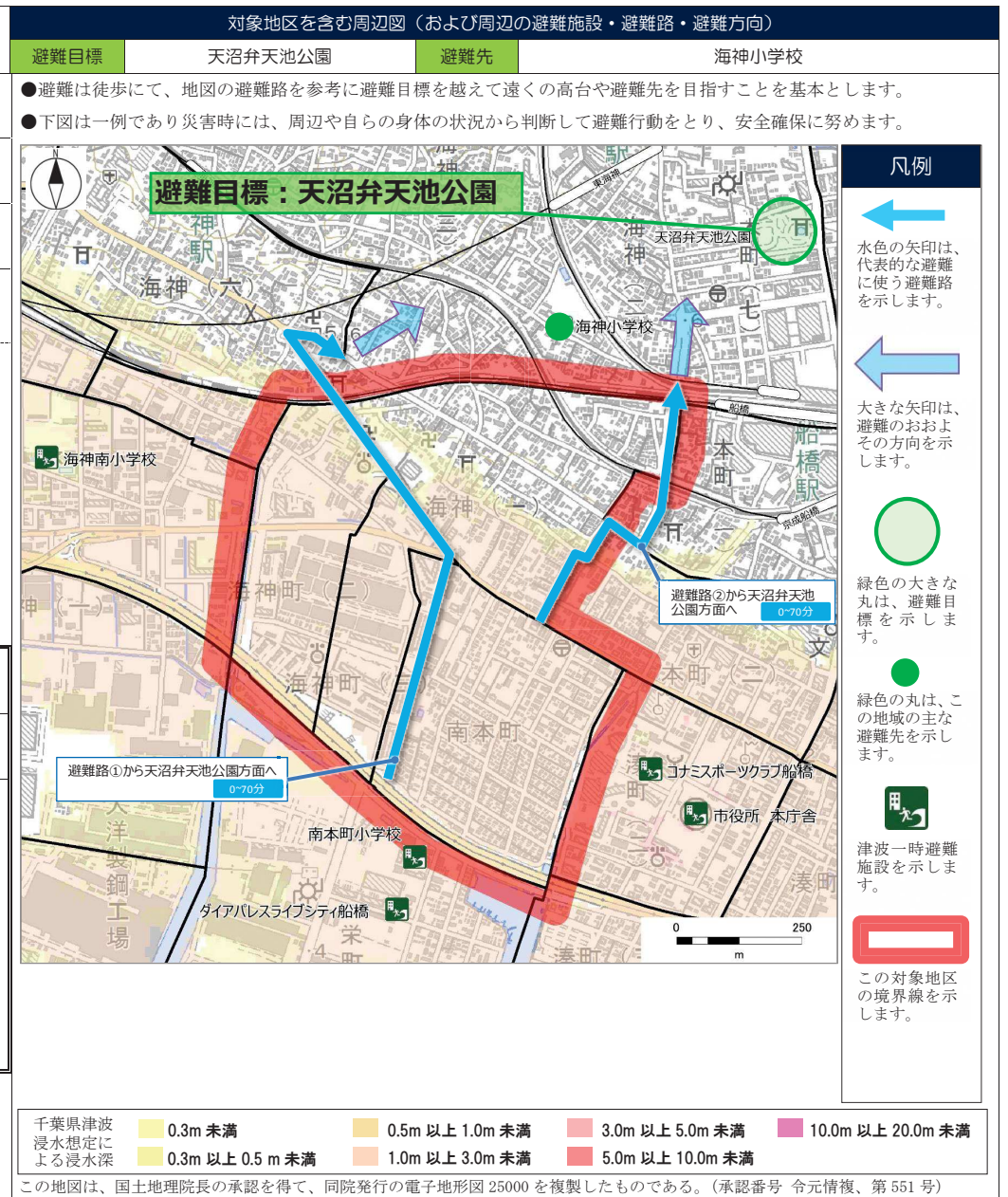
人口	昼間人口 3,023 人 夜間人口 5 人
想定される危険性	<p>最大浸水深 (地点は右図参照) 1.0~3.0m ※千葉県津波浸水想定の場合</p> <p>津波到達時間 70 分 ※千葉県津波浸水想定の場合</p> <p>液状化発生の危険性 ほぼ全域で「極めて高い」または「高い」 ※平成 29・30 年度船橋市防災アセスメント調査(千葉県北西部直下地震)による予測の場合</p>
基本となる避難方法	<p>避難方法の考え方 避難方法 C: 避難対象地域の外までの距離が遠く、周辺の津波一時避難施設、頑丈な建物の上階に垂直避難する。</p> <p>地震発生 40 分 70 分 (第一波到達)</p> <p>津波一時避難施設へ避難 頑丈な建物等へ緊急避難</p> <p>避難先を目指す。 地震発生から 70 分後、避難の余裕がないときは近くの頑丈な建物等に緊急避難を行う。</p> <p>※この時間軸は千葉県津波浸水想定の場合による一例であり、実際には、テレビ・ラジオ等あらゆる手段を用いて情報を収集し、避難行動の判断をする必要がある。</p>
	<p>避難目標 各津波一時避難施設、または頑丈な建物の上階</p>
	<p>避難先 (津波一時避難施設) : 京葉港湾労働者福祉センター、アイシーエクスプレス株式会社京葉物流センター、南部清掃工場 管理棟、三井物産グローバルロジスティクス株式会社東関東支店東浜流通センター、ふなばし三番瀬環境学習館</p> <p>推奨される具体的な避難行動(避難路や避難先) 上記および右図記載の津波一時避難施設(京葉港湾労働者福祉センター、アイシーエクスプレス株式会社京葉物流センター、南部清掃工場 管理棟、三井物産グローバルロジスティクス株式会社東関東支店東浜流通センター、ふなばし三番瀬環境学習館)へ。</p> <p>※避難目標まで遠く、移動に伴う危険があると考えられる場合は、無理に移動は行わず、頑丈な建物の上階へ避難する。</p>
(参考) 周辺の津波一時避難施設	—





(10) 海神一丁目、海神町二丁目、海神町三丁目、南本町

人口	昼間人口 3,832人 夜間人口 8,979人
想定される危険性	<p>最大浸水深 (地点は右図参照) 3.0~5.0m ※千葉県津波浸水想定の場合</p> <p>津波到達時間 70分 ※千葉県津波浸水想定の場合</p> <p>液状化発生の危険性 各地区とも一部で「極めて高い」、そのほかほぼ全域で「高い」または「やや高い」 ※平成29・30年度船橋市防災アセスメント調査(千葉県北西部直下地震)による予測の場合</p>
避難方法の考え方	<p>避難方法A: 避難対象地域の外に到達しやすい地域であり、避難対象地域の外を目指すことを基本とする。</p> <p>地震発生 40分 70分(第一波到達)</p> <p>避難対象地域の外に避難 頑丈な建物等へ緊急避難</p> <p>避難目標、避難先を目指す。 地震発生から70分後、避難の余裕がないときは近くの頑丈な建物等に緊急避難を行う。</p> <p>※この時間軸は千葉県津波浸水想定の場合による一例であり、実際には、テレビ・ラジオ等あらゆる手段を用いて情報を収集し、避難行動の判断をする必要がある。</p>
避難目標	天沼弁天池公園
避難先	海神小学校
推奨される具体的な避難行動(避難路や避難先)	<p>避難路①から総武線を越え天沼弁天池公園方面へ。 避難路②から京成本線および総武線を越え天沼弁天池公園方面へ。</p> <p>※避難目標まで遠く、移動に伴う危険があると考えられる場合は、無理に移動は行わず、頑丈な建物の上階へ避難する。</p>
(参考) 周辺の津波一時避難施設	<p>海神南小学校、コナミスポーツクラブ船橋、市役所 本庁舎、南本町小学校、ダイアパレスライブシティ船橋</p> <p>※津波避難時は、海側方向への移動は危険が伴うため、基本的に行わない。</p>



(11) 栄町一丁目

人口	昼間人口 3,003 人 夜間人口 3,161 人
想定される危険性	<p>最大浸水深 (地点は右図参照) 1.0~3.0m ※千葉県津波浸水想定の場合</p> <p>津波到達時間 70分 ※千葉県津波浸水想定の場合</p> <p>液状化発生の危険性 中央部から東部で「極めて高い」または「高い」 ※平成29・30年度船橋市防災アセスメント調査(千葉県北西部直下地震)による予測の場合</p>
避難方法の考え方	<p>避難方法B: 避難対象地域の外を目指すことを基本に、津波到達予想時刻までの状況により、津波一時避難施設や頑丈な建物の上階に垂直避難する。</p> <p>地震発生 40分 70分(第一波到達)</p> <p>避難対象地域の外に避難 津波一時避難施設へ避難 頑丈な建物等へ緊急避難</p> <p>避難目標、避難先を目指す。 地震発生から40分後、避難行動が遅れた人は津波一時避難施設への避難を行う。 地震発生から70分後、避難の余裕がないときは近くの頑丈な建物等に緊急避難を行う。</p> <p>※この時間軸は千葉県津波浸水想定の場合による一例であり、実際には、テレビ・ラジオ等あらゆる手段を用いて情報を収集し、避難行動の判断をする必要がある。</p>
避難目標	天沼弁天池公園
避難先	海神小学校 (津波一時避難施設) : 南本町小学校、ダイアパレスライブシティ船橋
推奨される具体的な避難行動(避難路や避難先)	<p>【0~40分】 避難路①から国道14号線を通って、総武線を越え天沼弁天池公園方面へ。</p> <p>【40~70分】 上記および右図記載の津波一時避難施設(南本町小学校、ダイアパレスライブシティ船橋)へ。</p> <p>※避難目標まで遠く、移動に伴う危険があると考えられる場合は、無理に移動は行わず、頑丈な建物の上階へ避難する。</p>
(参考) 周辺の津波一時避難施設	<p>海神南小学校、コナミスポーツクラブ船橋、市役所 本庁舎、湊中学校、東亜建設工業船橋寮</p> <p>※津波避難時は、海側方向への移動は危険が伴うため、基本的に行わない。</p>

対象地区を含む周辺図(および周辺の避難施設・避難路・避難方向)

避難目標	天沼弁天池公園	避難先	海神小学校、(津波一時避難施設) : 南本町小学校、ダイアパレスライブシティ船橋
------	---------	-----	--

●避難は徒歩にて、地図の避難路を参考に避難目標を越えて遠くの高台や避難先を目指すことを基本とします。  
●下図は一例であり災害時には、周辺や自らの身体の状況から判断して避難行動をとり、安全確保に努めます。

凡例

- 水色の矢印は、代表的な避難路に使う避難路を示します。
- 大きな矢印は、避難のおおよその方向を示します。
- 緑色の大きな丸は、避難目標を示します。
- 緑色の丸は、この地域の主な避難先を示します。
- 田の字のマークは、津波一時避難施設を示します。
- この対象地区の境界線を示します。

千葉県津波浸水想定による浸水深

0.3m 未満	0.5m 以上 1.0m 未満	3.0m 以上 5.0m 未満	10.0m 以上 20.0m 未満
0.3m 以上 0.5m 未満	1.0m 以上 3.0m 未満	5.0m 以上 10.0m 未満	

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図 25000 を複製したものである。(承認番号 令元情復、第 551 号)

(12) 栄町二丁目

人口	昼間人口 3,102 人 夜間人口 157 人
想定される危険性	<p>最大浸水深 (地点は右図参照) 3.0~5.0m ※千葉県津波浸水想定の場合</p> <p>津波到達時間 70分 ※千葉県津波浸水想定の場合</p> <p>液状化発生の危険性 ほぼ全域で「極めて高い」または「高い」 ※平成29・30年度船橋市防災アセスメント調査(千葉県北西部直下地震)による予測の場合</p>
基本となる避難方法	<p>避難方法の考え方 避難方法C: 避難対象地域の外までの距離が遠く、周辺の津波一時避難施設、頑丈な建物の上階に垂直避難する。</p> <p>地震発生 40分 70分(第一波到達)</p> <p>津波一時避難施設へ避難 頑丈な建物等へ緊急避難</p> <p>避難先を目指す。 地震発生から70分後、避難の余裕がないときは近くの頑丈な建物等に緊急避難を行う。</p> <p>※この時間軸は千葉県津波浸水想定の場合による一例であり、実際には、テレビ・ラジオ等あらゆる手段を用いて情報を収集し、避難行動の判断をする必要がある。</p>
	避難目標 各津波一時避難施設、または頑丈な建物の上階
	避難先 (津波一時避難施設) : 南本町小学校、ダイアパレスライブシティ船橋
	<p>推奨される具体的な避難行動(避難路や避難先) 上記および右図記載の津波一時避難施設(南本町小学校、ダイアパレスライブシティ船橋)へ。</p> <p>※避難目標まで遠く、移動に伴う危険があると考えられる場合は、無理に移動は行わず、頑丈な建物の上階へ避難する。</p>
(参考) 周辺の津波一時避難施設	<p>湊中学校</p> <p>※津波避難時は、海側方向への移動は危険が伴うため、基本的に行わない。</p>



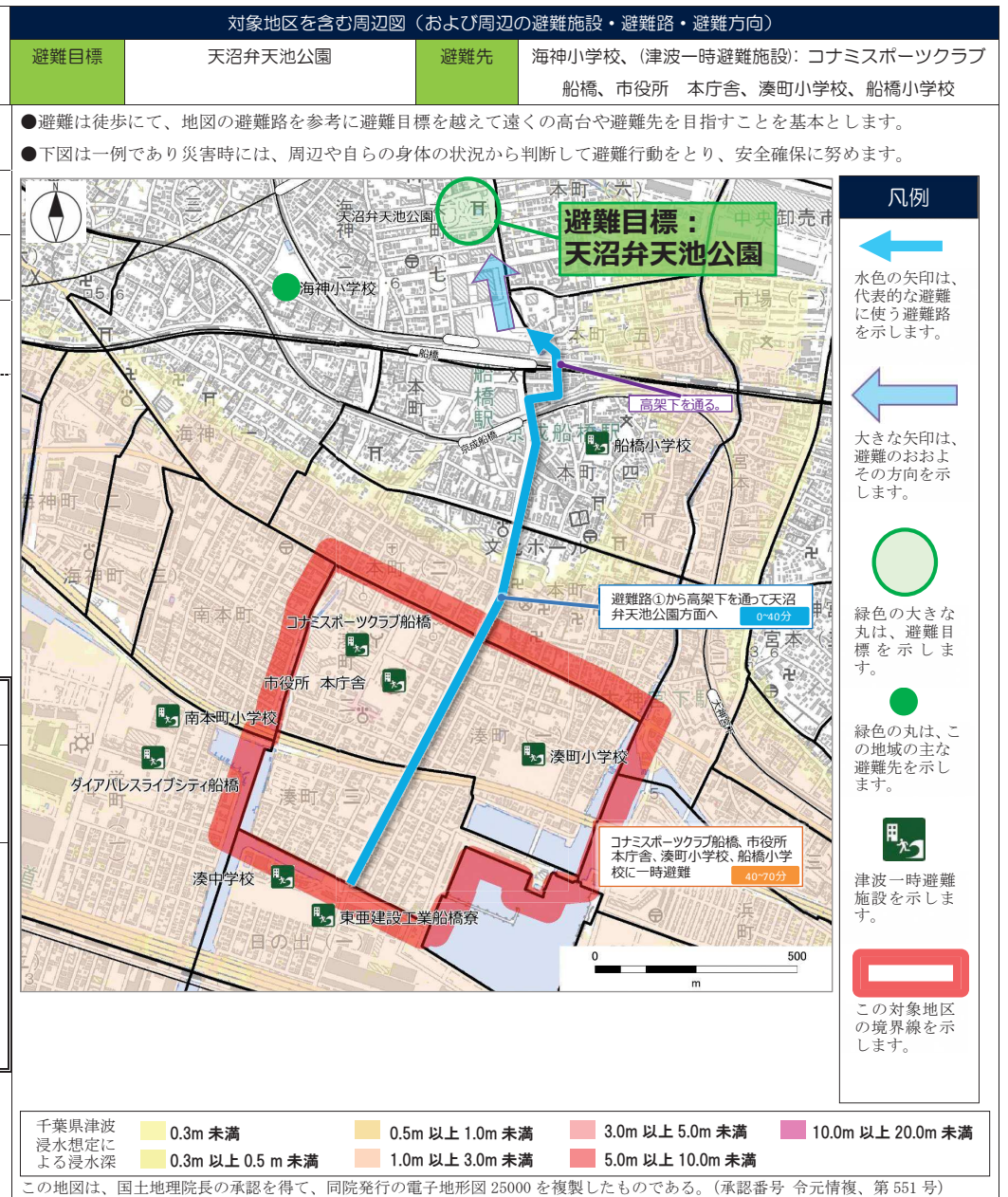
(13) 日の出一丁目、日の出二丁目

人口	昼間人口 4,267 人 夜間人口 1,458 人
想定される危険性	<p>最大浸水深 (地点は右図参照) 3.0~5.0m ※千葉県津波浸水想定の場合</p> <p>津波到達時間 70分 ※千葉県津波浸水想定の場合</p> <p>液状化発生の危険性 日の出一丁目、日の出二丁目ともに西部の広い範囲または東部の一部で「極めて高い」 ※平成29・30年度船橋市防災アセスメント調査(千葉県北西部直下地震)による予測の場合</p>
基本となる避難方法	<p>避難方法の考え方 避難方法C: 避難対象地域の外までの距離が遠く、周辺の津波一時避難施設、頑丈な建物の上階に垂直避難する。</p> <p>地震発生から70分(第一波到達)までの避難行動:</p> <p>津波一時避難施設へ避難 (0-70分)   頑丈な建物等へ緊急避難</p> <p>避難先を目指す。 地震発生から70分後、避難の余裕がないときは近くの頑丈な建物等に緊急避難を行う。</p> <p>※この時間軸は千葉県津波浸水想定の場合による一例であり、実際には、テレビ・ラジオ等あらゆる手段を用いて情報を収集し、避難行動の判断をする必要がある。</p>
	<p>避難目標 各津波一時避難施設、または頑丈な建物の上階</p>
	<p>避難先 (津波一時避難施設) : 湊中学校、東亜建設工業船橋寮</p> <p>推奨される具体的な避難行動(避難路や避難先) 上記および右図記載の津波一時避難施設(湊中学校、東亜建設工業船橋寮)へ。</p> <p>※避難目標まで遠く、移動に伴う危険があると考えられる場合は、無理に移動は行わず、頑丈な建物の上階へ避難する。</p>
(参考) 周辺の津波一時避難施設	<p>湊町小学校、市役所 本庁舎、コナミスポーツクラブ船橋、南本町小学校、ダイアパレスライプシティ船橋、三井不動産ロジスティクスパーク 船橋II 立体駐車場棟</p> <p>※津波避難時は、海側方向への移動は危険が伴うため、基本的に行わない。</p>



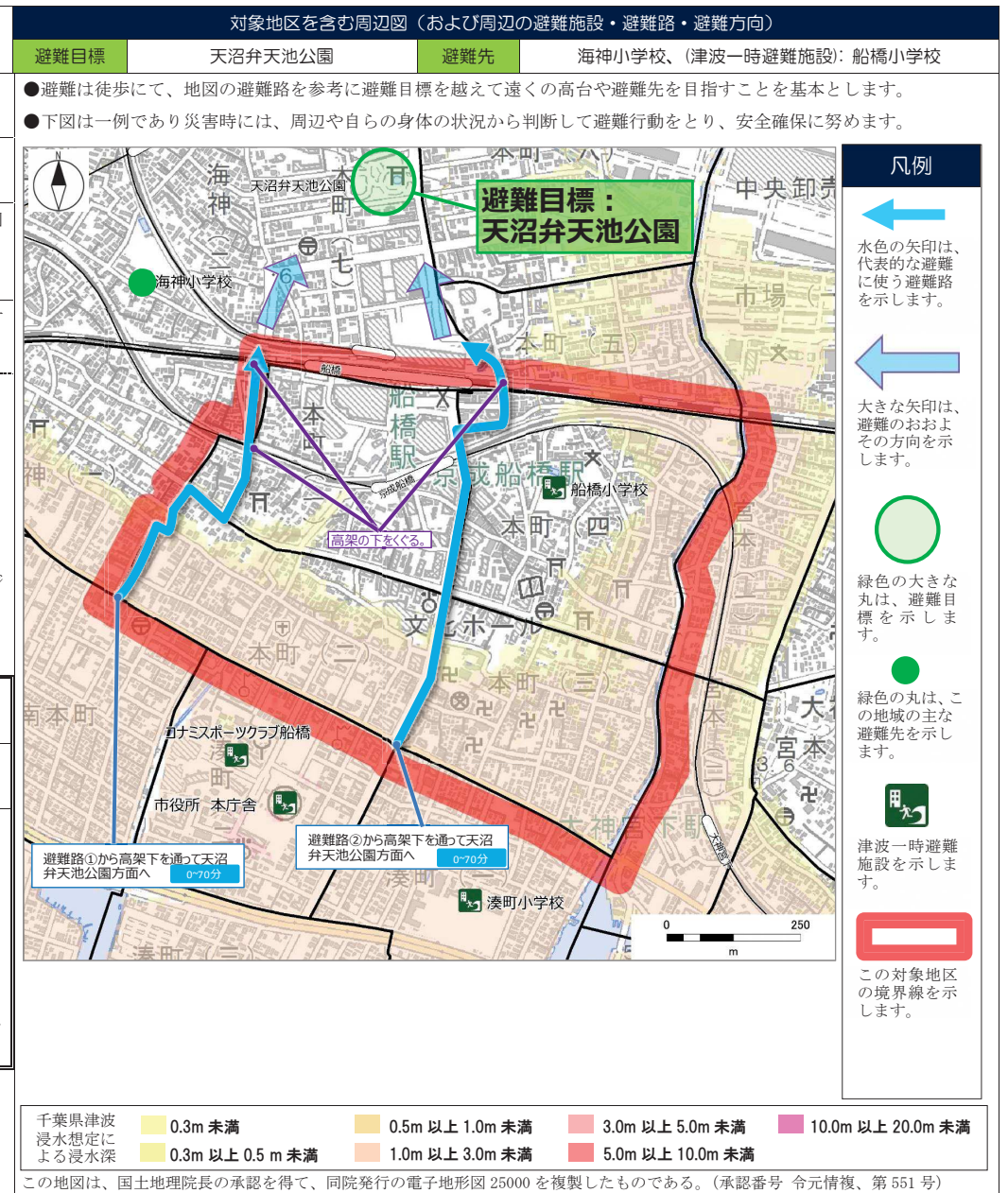
(14) 湊町一丁目、湊町二丁目、湊町三丁目

人口	昼間人口 3,333 人 夜間人口 7,645 人
想定される危険性	<p>最大浸水深 (地点は右図参照) 5.0~10.0m ※千葉県津波浸水想定の場合</p> <p>津波到達時間 70分 ※千葉県津波浸水想定の場合</p> <p>液化化発生の危険性 湊町一丁目の周縁部、湊町二丁目のほぼ全域、湊町三丁目のほぼ全域で「極めて高い」 ※平成29・30年度船橋市防災アセスメント調査(千葉県北西部直下地震)による予測の場合</p>
基本となる避難方法	<p>避難方法の考え方 避難方法B: 避難対象地域の外を目指すことを基本に、津波到達予想時刻までの時間などの状況により、津波一時避難施設や頑丈な建物の上階に垂直避難する。</p> <p>地震発生から40分後、避難行動が遅れた人は津波一時避難施設への避難を行う。 地震発生から70分後、避難の余裕がないときは近くの頑丈な建物等に緊急避難を行う。</p> <p>※この時間軸は千葉県津波浸水想定の場合による一例であり、実際には、テレビ・ラジオ等あらゆる手段を用いて情報を収集し、避難行動の判断をする必要がある。</p>
	<p>避難目標 天沼弁天池公園</p>
	<p>避難先 海神小学校 (津波一時避難施設) : コナミスポーツクラブ船橋、市役所 本庁舎、湊町小学校、船橋小学校</p>
推奨される具体的な避難行動(避難路や避難先)	<p>【0~40分】 避難路①から京成本線および総武線を越え天沼弁天池公園方面へ。</p> <p>【40~70分】 上記および右図記載の津波一時避難施設(コナミスポーツクラブ船橋、市役所 本庁舎、湊町小学校、船橋小学校)へ。</p> <p>※避難目標まで遠く、移動に伴う危険があると考えられる場合は、無理に移動は行わず、頑丈な建物の上階へ避難する。</p>
(参考) 周辺の津波一時避難施設	<p>南本町小学校、ダイアパレスライブシティ船橋、湊中学校、東亜建設工業船橋寮</p> <p>※津波避難時は、海側方向への移動は危険が伴うため、基本的に行わない。</p>



(15) 本町一丁目、本町二丁目、本町三丁目、本町四丁目

人口	昼間人口 16,064人 夜間人口 10,553人
想定される危険性	最大浸水深 (地点は右図参照) ※千葉県津波浸水想定の場合 1.0~3.0m
	津波到達時間 70分 ※千葉県津波浸水想定の場合
	液状化発生の危険性 本町一丁目の大部分、本町二丁目の東部の広い範囲、本町三丁目の西部の一部、本町四丁目の南東部の広い範囲で「極めて高い」 ※平成29・30年度船橋市防災アセスメント調査(千葉県北西部直下地震)による予測の場合
基本となる避難方法	避難方法の考え方 避難方法A: 避難対象地域の外に到達しやすい地域であり、避難対象地域の外を目指すことを基本とする。 地震発生 40分 70分(第一波到達) 避難対象地域の外に避難 頑丈な建物等へ緊急避難 避難目標、避難先を目指す。 地震発生から70分後、避難の余裕がないときは近くの頑丈な建物等に緊急避難を行う。 ※この時間軸は千葉県津波浸水想定の場合による一例であり、実際には、テレビ・ラジオ等あらゆる手段を用いて情報を収集し、避難行動の判断をする必要がある。
	避難目標 天沼弁天池公園
	避難先 海神小学校 (津波一時避難施設): 船橋小学校
	推奨される具体的な避難行動(避難路や避難先) 避難路①から京成本線および総武線を越え天沼弁天池公園方面へ。 避難路②から京成本線および総武線を越え天沼弁天池公園方面へ。 ※避難目標まで遠く、移動に伴う危険があると考えられる場合は、無理に移動は行わず、頑丈な建物の上階へ避難する。
	(参考) 周辺の津波一時避難施設 コナミスポーツクラブ船橋、市役所 本庁舎、湊町小学校 ※津波避難時は、海側方向への移動は危険が伴うため、基本的に行わない。



(16) 本町五丁目、本町六丁目

人口	昼間人口 7,365 人	夜間人口 5,917 人
想定される危険性	最大浸水深 (地点は右図参照)	1.0~3.0m ※千葉県津波浸水想定の場合
	津波到達時間	70分 ※千葉県津波浸水想定の場合
	液状化発生の危険性	本町五丁目の北部の一部で「極めて高い」、本町六丁目の南東部の一部で「極めて高い」 ※平成 29・30 年度船橋市防災アセスメント調査(千葉県北西部直下地震)による予測の場合
基本となる避難方法	避難方法の考え方	避難方法 A: 避難対象地域の外に到達しやすい地域であり、避難対象地域の外を目指すことを基本とする。  <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="text-align: center;">地震発生</div> <div style="margin: 0 20px;">40分</div> <div style="text-align: center;">70分(第一波到達)</div> </div> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin-top: 5px;"> <div style="background-color: #0070c0; width: 100px; height: 10px; margin-right: 5px;"></div> <span style="font-size: 8px;">避難対象地域の外に避難</span> <div style="background-color: #e91e63; width: 100px; height: 10px; margin-left: 10px; margin-right: 5px;"></div> <span style="font-size: 8px;">頑丈な建物等へ緊急避難</span> </div> <p style="font-size: 8px; margin-top: 5px;">避難目標、避難先を目指す。 地震発生から 70 分後、避難の余裕がないときは近くの頑丈な建物等に緊急避難を行う。</p> <p style="font-size: 8px; margin-top: 5px;">※この時間軸は千葉県津波浸水想定の場合による一例であり、実際には、テレビ・ラジオ等あらゆる手段を用いて情報を収集し、避難行動の判断をする必要がある。</p>
	避難目標	天沼弁天池公園、船橋中学校
	避難先	船橋中学校
	推奨される具体的な避難行動(避難路や避難先)	避難路①から天沼弁天池公園方面へ。 避難路②(市場通り)から船橋中学校方面へ。  <p style="font-size: 8px; margin-top: 10px;">※河川や水路に近い道で避難するときは、周囲の安全をよく確認すること。 ※避難目標まで遠く、移動に伴う危険があると考えられる場合は、無理に移動は行わず、頑丈な建物の上階へ避難する。</p>
(参考) 周辺の津波一時避難施設	—	

対象地区を含む周辺図(および周辺の避難施設・避難路・避難方向)

<b>避難目標</b>	天沼弁天池公園、船橋中学校	<b>避難先</b>	船橋中学校
-------------	---------------	------------	-------

●避難は徒歩にて、地図の避難路を参考に避難目標を越えて遠くの高台や避難先を目指すことを基本とします。  
●下図は一例であり災害時には、周辺や自らの身体の状態から判断して避難行動をとり、安全確保に努めます。

**凡例**

水色の矢印は、代表的な避難路を示します。

大きな矢印は、避難のおおよその方向を示します。

緑色の大きな丸は、避難目標を示します。

緑色の丸は、この地域ごとの主な避難先を示します。

津波一時避難施設を示します。

この対象地区の境界線を示します。

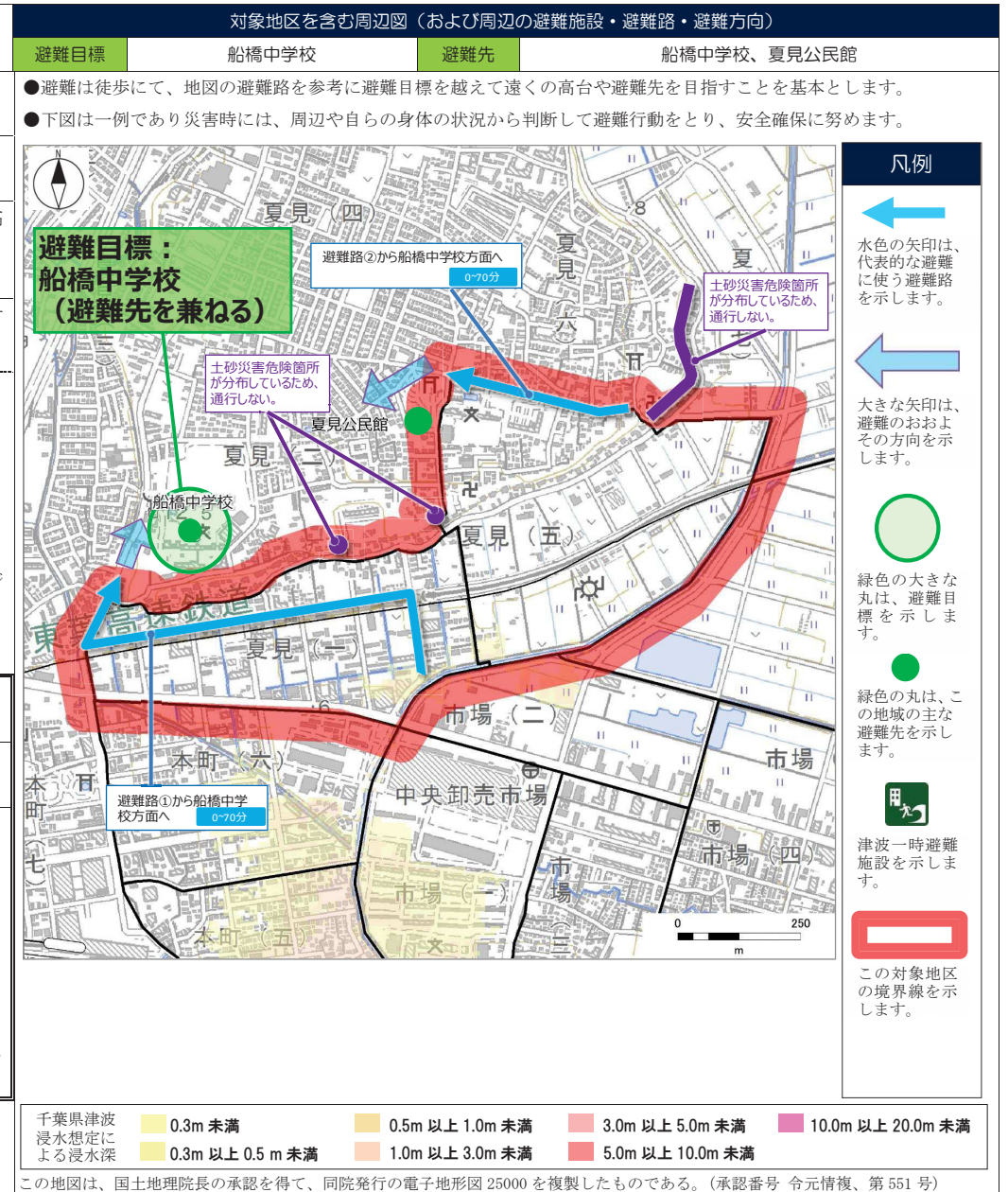
千葉県津波浸水想定による浸水深

0.3m 未満	0.5m 以上 1.0m 未満	3.0m 以上 5.0m 未満	10.0m 以上 20.0m 未満
0.3m 以上 0.5m 未満	1.0m 以上 3.0m 未満	5.0m 以上 10.0m 未満	

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図 25000 を複製したものである。(承認番号 令元情復、第 551 号)

(17) 夏見一丁目、夏見五丁目

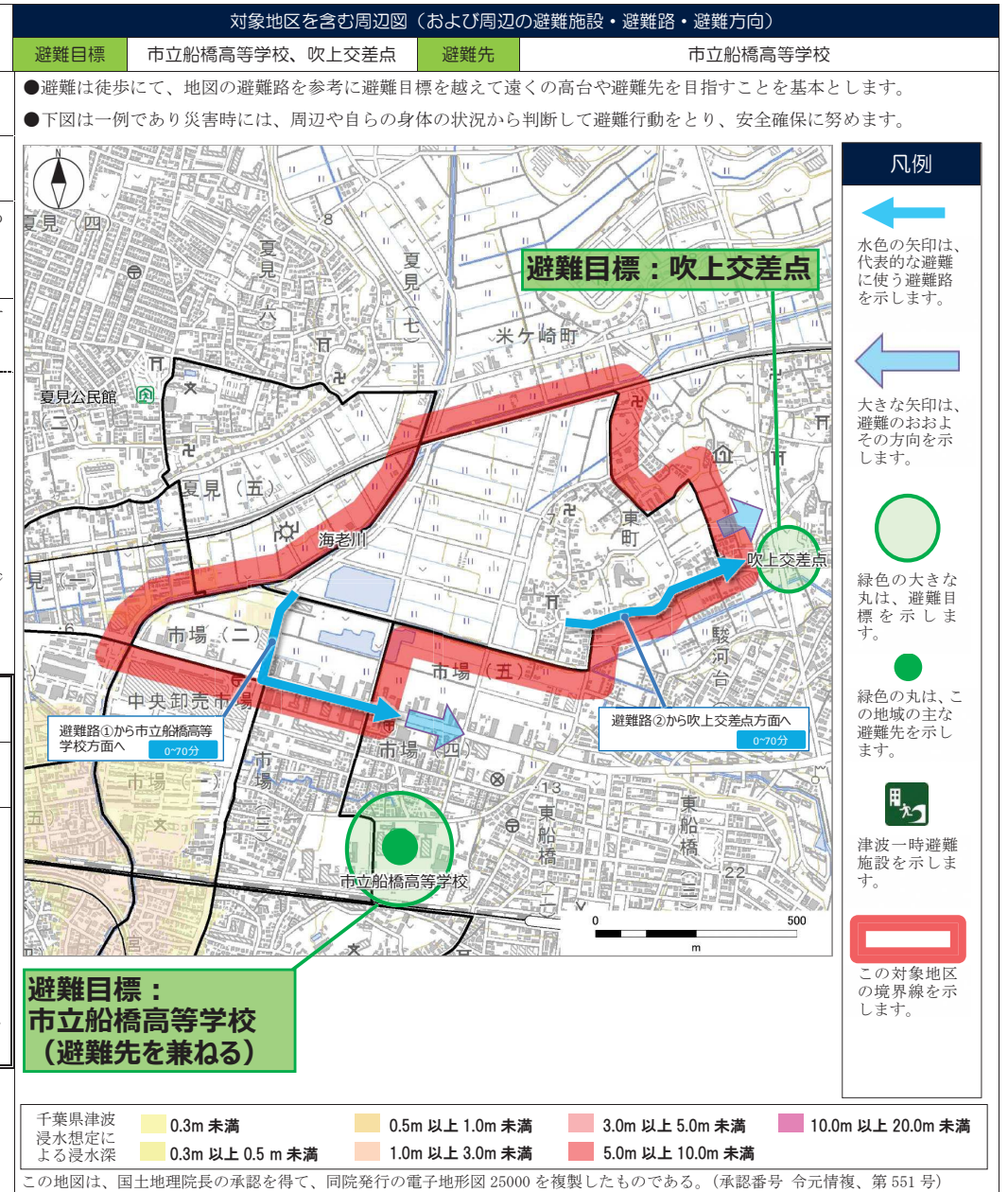
人口	昼間人口 4,265 人	夜間人口 4,114 人
想定される危険性	最大浸水深 (地点は右図参照)	1.0~3.0m ※千葉県津波浸水想定の場合
	津波到達時間	70分 ※千葉県津波浸水想定の場合
	液状化発生の危険性	夏見一丁目の南部から東部にかけて「高い」または「やや高い」、夏見五丁目の東葉高速線沿い、特に東部で「極めて高い」または「高い」 ※平成29・30年度船橋市防災アセスメント調査(千葉県北西部直下地震)による予測の場合
基本となる避難方法	避難方法の考え方	避難方法A: 避難対象地域の外に到達しやすい地域であり、避難対象地域の外を目指すことを基本とする。  地震発生 40分 70分(第一波到達) 避難対象地域の外に避難 頑丈な建物等へ緊急避難  避難目標、避難先を目指す。 地震発生から70分後、避難の余裕がないときは近くの頑丈な建物等に緊急避難を行う。  ※この時間軸は千葉県津波浸水想定の場合による一例であり、実際には、テレビ・ラジオ等あらゆる手段を用いて情報を収集し、避難行動の判断をする必要がある。
	避難目標	船橋中学校
	避難先	船橋中学校、夏見公民館
	推奨される具体的な避難行動(避難路や避難先)	避難路①から船橋中学校方面へ。 避難路②から船橋中学校方面へ。  ※土砂災害危険箇所の周辺は通行しない。 ※河川や水路に近い道で避難するときは、周囲の安全をよく確認すること。 ※避難目標まで遠く、移動に伴う危険があると考えられる場合は、無理に移動は行わず、頑丈な建物の上階へ避難する。
	(参考) 周辺の津波一時避難施設	—





(18) 東町、市場二丁目

人口	昼間人口 2,730 人	夜間人口 950 人
想定される危険性	最大浸水深 (地点は右図参照)	1.0~3.0m ※千葉県津波浸水想定の場合
	津波到達時間	70分 ※千葉県津波浸水想定の場合
	液状化発生の危険性	市場二丁目のほぼ全域で「極めて高い」または「高い」、東町の北西部の一部で「極めて高い」 ※平成29・30年度船橋市防災アセスメント調査(千葉県北西部直下地震)による予測の場合
基本となる避難方法	避難方法の考え方	避難方法A: 避難対象地域の外に到達しやすい地域であり、避難対象地域の外を目指すことを基本とする。  地震発生 40分 70分(第一波到達) 避難対象地域の外に避難 頑丈な建物等へ緊急避難  避難目標、避難先を目指す。 地震発生から70分後、避難の余裕がないときは近くの頑丈な建物等に緊急避難を行う。  ※この時間軸は千葉県津波浸水想定の場合による一例であり、実際には、テレビ・ラジオ等あらゆる手段を用いて情報を収集し、避難行動の判断をする必要がある。
	避難目標	市立船橋高等学校、吹上交差点
	避難先	市立船橋高等学校
	推奨される具体的な避難行動(避難路や避難先)	避難路①から市立船橋高等学校方面へ。 避難路②から吹上交差点方面へ。  ※河川や水路に近い道で避難するときは、周囲の安全をよく確認すること。 ※避難目標まで遠く、移動に伴う危険があると考えられる場合は、無理に移動は行わず、頑丈な建物の上階へ避難する。
(参考) 周辺の津波一時避難施設	—	



(19) 市場一丁目、市場三丁目

人口	昼間人口 3,328 人	夜間人口 2,780 人
想定される危険性	最大浸水深 (地点は右図参照)	1.0~3.0m ※千葉県津波浸水想定の場合
	津波到達時間	70分 ※千葉県津波浸水想定の場合
	液状化発生の危険性	市場一丁目の北部及び南東部の一部で「極めて高い」、市場三丁目の南西部の一部で「極めて高い」 ※平成29・30年度船橋市防災アセスメント調査(千葉県北西部直下地震)による予測の場合
基本となる避難方法	避難方法の考え方	避難方法A: 避難対象地域の外に到達しやすい地域であり、避難対象地域の外を目指すことを基本とする。  地震発生 40分 70分(第一波到達) 避難対象地域の外に避難 頑丈な建物等へ緊急避難  避難目標、避難先を目指す。 地震発生から70分後、避難の余裕がないときは近くの頑丈な建物等に緊急避難を行う。  ※この時間軸は千葉県津波浸水想定の場合による一例であり、実際には、テレビ・ラジオ等あらゆる手段を用いて情報を収集し、避難行動の判断をする必要がある。
	避難目標	市立船橋高等学校
	避難先	市立船橋高等学校
	推奨される具体的な避難行動(避難路や避難先)	避難路①から市立船橋高等学校方面へ。  ※避難目標まで遠く、移動に伴う危険があると考えられる場合は、無理に移動は行わず、頑丈な建物の上階へ避難する。
	(参考) 周辺の津波一時避難施設	—

対象地区を含む周辺図(および周辺の避難施設・避難路・避難方向)

避難目標	市立船橋高等学校	避難先	市立船橋高等学校
------	----------	-----	----------

●避難は徒歩にて、地図の避難路を参考に避難目標を越えて遠くの高台や避難先を目指すことを基本とします。  
●下図は一例であり災害時には、周辺や自らの身体の状態から判断して避難行動を取り、安全確保に努めます。

避難目標: 市立船橋高等学校 (避難先を兼ねる)

避難路①から市立船橋高等学校方面へ 0-70分

凡例

- 水色の矢印は、代表的な避難に使う避難路を示します。
- 大きな矢印は、避難のおおよその方向を示します。
- 緑色の大きな丸は、避難目標を示します。
- 緑色の丸は、この地域の主な避難先を示します。
- 田の字のマークは、津波一時避難施設を示します。
- 赤い枠は、この対象地区の境界線を示します。

千葉県津波浸水想定による浸水深

0.3m 未満	0.5m 以上 1.0m 未満	3.0m 以上 5.0m 未満	10.0m 以上 20.0m 未満
0.3m 以上 0.5m 未満	1.0m 以上 3.0m 未満	5.0m 以上 10.0m 未満	

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図25000を複製したものである。(承認番号 令元情復、第551号)

(20) 宮本一丁目、宮本六丁目

人口	昼間人口 3,195 人	夜間人口 5,309 人
想定される危険性	最大浸水深 (地点は右図参照)	1.0~3.0m ※千葉県津波浸水想定の場合
	津波到達時間	70分 ※千葉県津波浸水想定の場合
	液状化発生の危険性	宮本一丁目のほぼ全域で「極めて高い」または「高い」、宮本六丁目の南西部で「極めて高い」 ※平成29・30年度船橋市防災アセスメント調査(千葉県北西部直下地震)による予測の場合
基本となる避難方法	避難方法の考え方	避難方法A: 避難対象地域の外に到達しやすい地域であり、避難対象地域の外を目指すことを基本とする。  地震発生 40分 70分(第一波到達) 避難対象地域の外に避難 頑丈な建物等へ緊急避難  避難目標、避難先を目指す。 地震発生から70分後、避難の余裕がないときは近くの頑丈な建物等に緊急避難を行う。  ※この時間軸は千葉県津波浸水想定の場合による一例であり、実際には、テレビ・ラジオ等あらゆる手段を用いて情報を収集し、避難行動の判断をする必要がある。
	避難目標	宮本中学校
	避難先	宮本中学校、市立船橋高等学校、宮本小学校
	推奨される具体的な避難行動(避難路や避難先)	避難路①から宮本中学校方面へ。  ※避難目標まで遠く、移動に伴う危険があると考えられる場合は、無理に移動は行わず、頑丈な建物の上階へ避難する。
	(参考) 周辺の津波一時避難施設	—

対象地区を含む周辺図(および周辺の避難施設・避難路・避難方向)

避難目標	宮本中学校	避難先	宮本中学校、市立船橋高等学校、宮本小学校
------	-------	-----	----------------------

●避難は徒歩にて、地図の避難路を参考に避難目標を越えて遠くの高台や避難先を目指すことを基本とします。  
●下図は一例であり災害時には、周辺や自らの身体の状態から判断して避難行動をとり、安全確保に努めます。

凡例

- 水色の矢印は、代表的な避難に使う避難路を示します。
- 大きな矢印は、避難のおおよその方向を示します。
- 緑色の大きな丸は、避難目標を示します。
- 緑色の丸は、この地域の主な避難先を示します。
- 津波一時避難施設を示します。
- この対象地区の境界線を示します。

千葉県津波浸水想定による浸水深

0.3m 未満	0.5m 以上 1.0m 未満	3.0m 以上 5.0m 未満	10.0m 以上 20.0m 未満
0.3m 以上 0.5m 未満	1.0m 以上 3.0m 未満	5.0m 以上 10.0m 未満	

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図 25000 を複製したものである。(承認番号 令元情復、第 551 号)

(21) 宮本二丁目、宮本三丁目、宮本四丁目、宮本五丁目、宮本八丁目、宮本九丁目、浜町一丁目

人口	昼間人口 8,271人 夜間人口 13,123人
想定される危険性	最大浸水深 (地点は右図参照) ※千葉県津波浸水想定の場合 3.0~5.0m
	津波到達時間 70分 ※千葉県津波浸水想定の場合
	液状化発生の危険性 京成本線沿いの一部で「極めて高い」、宮本二丁目、宮本四丁目、宮本九丁目、浜町一丁目ではほぼ全域で「高い」、宮本三丁目、宮本五丁目、宮本八丁目は一部で「高い」または「やや高い」 ※平成29・30年度船橋市防災アセスメント調査(千葉県北西部直下地震)による予測の場合
基本となる避難方法	避難方法の考え方 避難方法A: 避難対象地域の外に到達しやすい地域であり、避難対象地域の外を目指すことを基本とする。  地震発生 40分 70分(第一波到達) <b>避難対象地域の外に避難</b> <b>頑丈な建物等へ緊急避難</b>  避難目標、避難先を目指す。 地震発生から70分後、避難の余裕がないときは近くの頑丈な建物等に緊急避難を行う。  ※この時間軸は千葉県津波浸水想定の場合による一例であり、実際には、テレビ・ラジオ等あらゆる手段を用いて情報を収集し、避難行動の判断をする必要がある。
	避難目標 宮本中学校
	避難先 宮本中学校、宮本小学校、県立船橋高等学校
	推奨される具体的な避難行動(避難路や避難先) 避難路①から宮本中学校方面へ。 避難路②から京成本線を越え宮本中学校方面へ。 避難路③から京成本線を越え宮本中学校方面へ。 避難路④から京成本線を越え宮本中学校方面へ。 避難路⑤から宮本中学校方面へ。 ※避難目標まで遠く、移動に伴う危険があると考えられる場合は、無理に移動は行わず、頑丈な建物の上階へ避難する。
(参考) 周辺の津波一時避難施設	ビビット南船橋、三井ショッピングパークららぽーと TOKYO-BAY、湊町小学校  ※津波避難時は、海側方向への移動は危険が伴うため、基本的に行わない。

対象地区を含む周辺図(および周辺の避難施設・避難路・避難方向)

避難目標	宮本中学校	避難先	宮本中学校、宮本小学校、県立船橋高等学校
------	-------	-----	----------------------

●避難は徒歩にて、地図の避難路を参考に避難目標を越えて遠くの高台や避難先を目指すことを基本とします。  
●下図は一例であり災害時には、周辺や自らの身体の状態から判断して避難行動をとり、安全確保に努めます。

**凡例**

- 水色の矢印は、代表的な避難に使う避難路を示します。
- 大きな矢印は、避難のおおよその方向を示します。
- 緑色の大きな丸は、避難目標を示します。
- 緑色の丸は、この地域の主な避難先を示します。
- 津波一時避難施設を示します。
- この対象地区の境界線を示します。

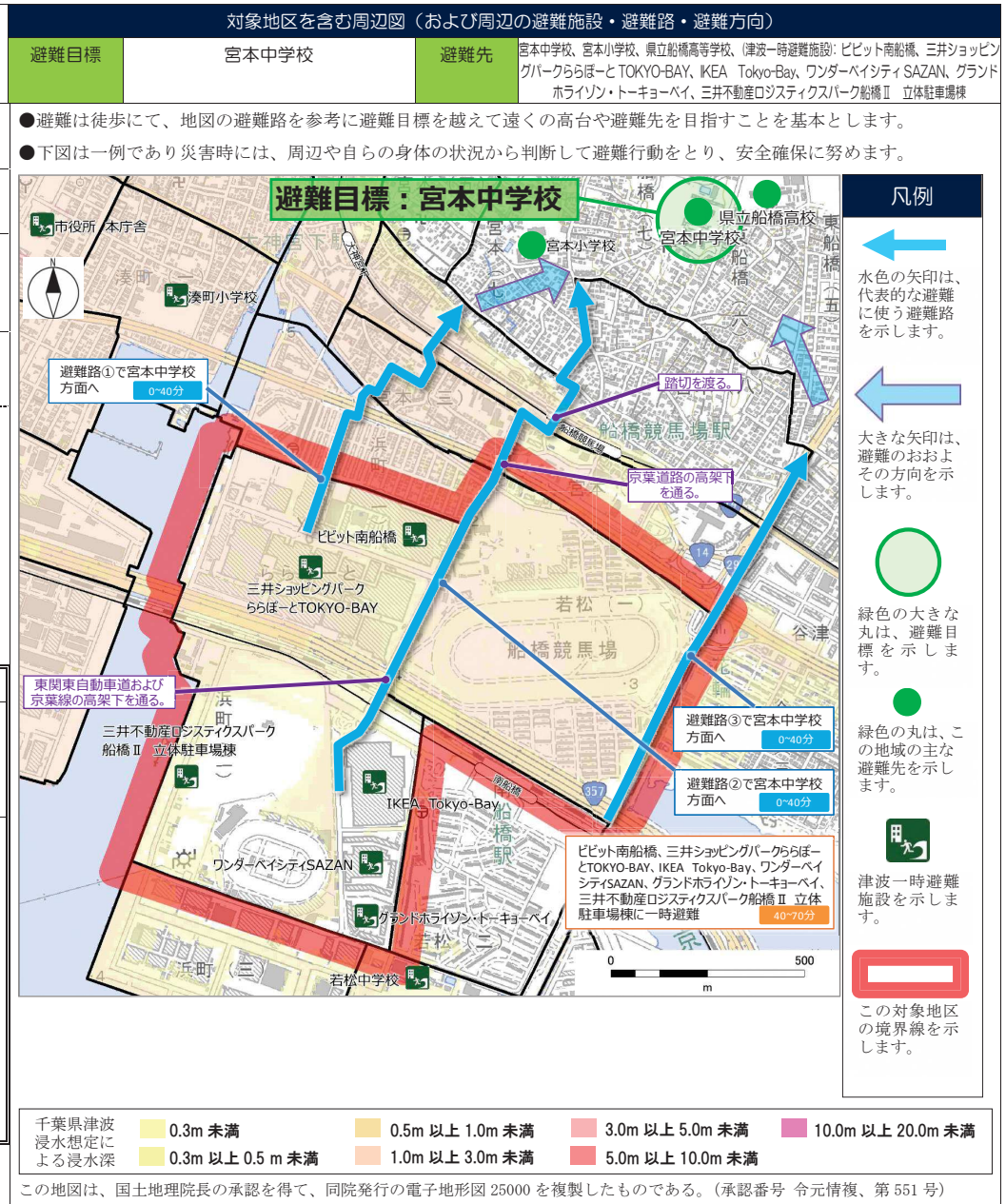
千葉県津波浸水想定による浸水深

0.3m 未満	0.5m 以上 1.0m 未満	3.0m 以上 5.0m 未満	10.0m 以上 20.0m 未満
0.3m 以上 0.5m 未満	1.0m 以上 3.0m 未満	5.0m 以上 10.0m 未満	

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図 25000 を複製したものである。(承認番号 令元情復、第 551 号)

(22) 浜町二丁目、若松一丁目

人口	昼間人口 5,795 人	夜間人口 8,569 人
想定される危険性	最大浸水深 (地点は右図参照)	1.0~3.0m ※千葉県津波浸水想定の場合
	津波到達時間	70分 ※千葉県津波浸水想定の場合
避難方法の考え方	液化発生危険性	京葉線以北のほぼ全域で「極めて高い」または「高い」、京葉線以南では、南船橋駅周辺から浜町二丁目の南端にかけて「極めて高い」または「高い」 ※平成29・30年度船橋市防災アセスメント調査(千葉県北西部直下地震)による予測の場合
	避難方法	避難方法B: 避難対象地域の外を目指すことを基本に、津波到達予想時刻までの時間などの状況により、津波一時避難施設や頑丈な建物の上階に垂直避難する。 <b>地震発生</b> 40分 70分(第一波到達) 避難対象地域の外に避難 津波一時避難施設へ避難 頑丈な建物等へ緊急避難 避難目標、避難先を目指す。 地震発生から40分後、避難行動が遅れた人は津波一時避難施設への避難を行う。 地震発生から70分後、避難の余裕がないときは近くの頑丈な建物等に緊急避難を行う。 ※この時間軸は千葉県津波浸水想定の場合による一例であり、実際には、テレビ・ラジオ等あらゆる手段を用いて情報を収集し、避難行動の判断をする必要がある。
避難目標	宮本中学校	
避難先	宮本中学校、宮本小学校、県立船橋高等学校 (津波一時避難施設): ビット南船橋、三井ショッピングパークららぽーとTOKYO-BAY、IKEA Tokyo-Bay、ワンダーベシティSAZAN、ランドホライゾン・トーキョーベイ、三井不動産ロジスティクスパーク船橋II 立体駐車場棟	
推奨される具体的な避難行動(避難路や避難先)	<b>【0~40分】</b> 避難路①から京成本線を越えて宮本中学校方面へ。 避難路②から東関東自動車道、京葉線、京葉道路、京成本線を越えて宮本中学校方面へ。 避難路③から京成本線を越えて宮本中学校方面へ。 <b>【40~70分】</b> 上記および右図記載の津波一時避難施設(ビット南船橋、三井ショッピングパークららぽーとTOKYO-BAY、IKEA Tokyo-Bay、ワンダーベシティSAZAN、ランドホライゾン・トーキョーベイ、三井不動産ロジスティクスパーク船橋II 立体駐車場棟)へ。 ※避難目標まで遠く、移動に伴う危険があると考えられる場合は、無理に移動は行わず、頑丈な建物の上階へ避難する。	
(参考) 周辺の津波一時避難施設	若松中学校、市役所 本庁舎、湊町小学校 ※津波避難時は、海側方向への移動は危険が伴うため、基本的に行わない。	



(23) 浜町三丁目、若松二丁目、若松三丁目

人口	昼間人口 3,270 人 夜間人口 3,455 人
想定される危険性	<p>最大浸水深 (地点は右図参照) 5.0~10.0m ※千葉県津波浸水想定の場合</p> <p>津波到達時間 70分 ※千葉県津波浸水想定の場合</p> <p>液状化発生の危険性 ほぼ全域で「極めて高い」 ※平成29・30年度船橋市防災アセスメント調査(千葉県北西部直下地震)による予測の場合</p>
基本となる避難方法	<p>避難方法の考え方 避難方法C: 避難対象地域の外までの距離が遠く、周辺の津波一時避難施設、頑丈な建物の上階に垂直避難する。</p> <p>地震発生 40分 70分(第一波到達)</p> <p>津波一時避難施設へ避難 頑丈な建物等へ緊急避難</p> <p>避難先を目指す。 地震発生から70分後、避難の余裕がないときは近くの頑丈な建物等に緊急避難を行う。</p> <p>※この時間軸は千葉県津波浸水想定の場合による一例であり、実際には、テレビ・ラジオ等あらゆる手段を用いて情報を収集し、避難行動の判断をする必要がある。</p>
	<p>避難目標 各津波一時避難施設、または頑丈な建物の上階</p>
	<p>避難先 (津波一時避難施設): 若松中学校、若松小学校、IKEA Tokyo-Bay、ワンダーベイシティSAZAN、グランドホライゾン・トーキョーベイ、三井不動産ロジスティクスパーク船橋II 立体駐車場棟、三井ショッピングパークららぽーと TOKYO-BAY、ビビット南船橋</p>
	<p>推奨される具体的な避難行動(避難路や避難先) 上記および右図記載の津波一時避難施設へ。</p> <p>※避難目標まで遠く、移動に伴う危険があると考えられる場合は、無理に移動は行わず、頑丈な建物の上階へ避難する。</p>
(参考) 周辺の津波一時避難施設	—

対象地区を含む周辺図(および周辺の避難施設・避難路・避難方向)

避難目標	津波一時避難施設 (または頑丈な建物の上階)	避難先
		(津波一時避難施設): 若松中学校、若松小学校、IKEA Tokyo-Bay、ワンダーベイシティSAZAN、グランドホライゾン・トーキョーベイ、三井不動産ロジスティクスパーク船橋II 立体駐車場棟、三井ショッピングパークららぽーと TOKYO-BAY、ビビット南船橋

- 避難は徒歩にて、地図の避難路を参考に避難目標を越えて遠くの高台や避難先を目指すことを基本とします。
- 下図は一例であり災害時には、周辺や自らの身体の状態から判断して避難行動をとり、安全確保に努めます。

凡例

- 水色の矢印は、代表的な避難路を示します。
- 大きな矢印は、避難のおおよその方向を示します。
- 緑色の大きな丸は、避難目標を示します。
- 緑色の丸は、この地域の主な避難先を示します。
- 田舎のマークは、津波一時避難施設を示します。
- この対象地区の境界線を示します。

千葉県津波浸水想定による浸水深

0.3m 未満	0.5m 以上 1.0m 未満	3.0m 以上 5.0m 未満	10.0m 以上 20.0m 未満
0.3m 以上 0.5m 未満	1.0m 以上 3.0m 未満	5.0m 以上 10.0m 未満	

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図25000を複製したものである。(承認番号 令元情複、第551号)

(24) 高瀬町

人口	昼間人口 8,930 人 夜間人口 323 人
想定される危険性	<p>最大浸水深 (地点は右図参照) 5.0~10.0m ※千葉県津波浸水想定の場合</p> <p>津波到達時間 70分 ※千葉県津波浸水想定の場合</p> <p>液状化発生の危険性 南西部の一部を除きほぼ全域で「極めて高い」 ※平成29・30年度船橋市防災アセスメント調査(千葉県北西部直下地震)による予測の場合</p>
基本となる避難方法	<p>避難方法の考え方 避難方法B: 避難対象地域の外を目指すことを基本に、津波到達予想時刻までの時間などの状況により、津波一時避難施設や頑丈な建物の上階に垂直避難する。</p> <p>地震発生 40分 70分(第一波到達)</p> <p>避難対象地域の外に避難 津波一時避難施設へ避難 頑丈な建物等へ緊急避難</p> <p>避難目標、避難先を目指す。 地震発生から40分後、避難行動が遅れた人は津波一時避難施設への避難を行う。 地震発生から70分後、避難の余裕がないときは近くの頑丈な建物等に緊急避難を行う。</p> <p>※この時間軸は千葉県津波浸水想定の場合による一例であり、実際には、テレビ・ラジオ等あらゆる手段を用いて情報を収集し、避難行動の判断をする必要がある。</p>
	<p>避難目標 新習志野駅</p> <p>避難先 (津波一時避難施設)：高瀬下水処理場上部運動広場</p> <p>推奨される具体的な避難行動(避難路や避難先) 【0~40分】 避難路①(県道15号)から新習志野駅方面へ。 【40~70分】 上記および右図記載の津波一時避難施設(高瀬下水処理場上部運動広場)へ。</p> <p>※避難目標まで遠く、移動に伴う危険があると考えられる場合は、無理に移動は行わず、頑丈な建物の上階へ避難する。</p>
(参考) 周辺の津波一時避難施設	<p>若松小学校、若松中学校、グランドホライゾン・トーキョーベイ、ワンダーベイシティSAZAN、IKEA Tokyo-Bay、三井不動産ロジスティクスパーク船橋II 立体駐車場棟</p> <p>※津波避難時は、海側方向への移動は危険が伴うため、基本的に行わない。</p>

